

IV 委員会活動報告

1. 管理部門

A：大学管理・運営

(1) 全学協議会（構成員 教員15名、事務局3名、計18名）

「全学協議会規程」に定めのある学長、副学長、各研究科長・学部長・学科長、事務局長、総務課長に加え、第1回本会議(4月27日開催)で出席について提案・承認された入試広報室長を構成員とする全学協議会は、本学の最高意志決定権者である学長の下に置かれ、全学的・学部横断的な課題や事項に関する審議・了承と、報告事項の適切かつ適確な確認・周知による各種情報の全学的共有と、本学における教学マネジメントの統括を主要な任務としている。

2022年度もまた、上記の趣旨を踏まえ、事前に開催された学長、副学長、各研究科長・学部長、事務局長、総務課長を構成員とする全学運営会議において確認、整理された協議事項について慎重に審議・了承し、加えて、報告事項についても確認の上全学的に周知するなど、主要な任務を遅滞なく遂行すべく努めた。また、教学マネジメントに関しては、通常、全学運営会議の前に開催される内部質保証室関連会議(自己点検・評価委員会、FD・SD委員会、IR委員会)で審議・決定された事項及び報告事項などについて、あらためて報告・確認の上、全学的に周知を図るべく努めた。また、各種アンケートの実施状況と分析結果を管理・総括し、授業改善並びに教学改革に結び付けるべく、全学教務委員会などと連携して取り組んだ。

1) 協議会開催

第1回 4月27日(水)17:00~18:10 欠席者：高木、矢野口

[審議事項]

- ①2023年度 人事について(赤羽事務局長)審議・了承
- ②2021年度 事業報告(案)について(赤羽事務局長)審議・了承
- ③「松本大学総務委員会規程」の制定について(赤羽事務局長)審議・了承
- ④「学業成績優秀者表彰規程及び学業成績上位者表彰規程」の改正について(赤羽事務局長)審議・了承
- ⑤アセスメント・ポリシーの見直しについて(浜崎副学長)審議・了承
- ⑥総合経営学部の2022年度委員会委員の修正について：尻無浜学部長
- ⑦長野県知事選挙における「移動期日前投票所」の設置期日について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

- ①2022年度入試結果について(山田全学入試・広報委員長)
- ②認証評価「自己点検評価書」の作成状況について(浜崎副学長、赤羽事務局長)
- ③内部質保証室関係
 - i)2022年度 授業アンケート実施科目及び日程について(等々力FD・SD委員長)
 - ii)健康栄養学科からのIR活動の申し出について(等々力IR委員長)
 - iii)2021年度 第1回FD・SD研修会の視聴結果について(等々力FD・SD委員長)
 - iv)2021年度後期科目のティーチング・ポートフォリオの記入状況について(等々力FD・SD委員長)
- ④2021年度 卒業生の就職状況について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑤新型コロナウイルス感染症感染者数の発表方法について(等々力対策副本部長)
- ⑥令和3年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果について(赤羽事務局長)

第2回 6月1日(水)17:00~18:10 欠席者：岸田・赤羽(研)

[審議事項]

- ①「松本大学経済的困窮学生の授業料減免に関する規程」の改正について(等々力副学長)審議・了承

- ②大学院 特待生の選抜方法について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承
- ③「異文化交流海外研修」(マルタ島)の実施について(秋田学校教育学科長)審議・了承
- ④地元中小企業との連携推進について(菅谷学長)審議・了承

[報告事項]

- ①「学校法人松商学園就業規則」の一部改正について(等々力副学長)
- ②総合型選抜(指定競技)の推薦・出願・承認過程について(山田全学入試・広報委員長)
- ③入試区分別の経年変化について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試広報室長)
- ④理事会(5/31(火)開催)について(菅谷学長)
- ⑤2022年度 卒業予定生の就職内定率について(等々力副学長)
- ⑥認証評価『自己点検評価書』の作成状況について(浜崎副学長、等々力副学長)
- ⑦2022年度1学期中間アンケート(短大部)の実施状況について(等々力FD・SD委員長)
- ⑧教育学部における会食に伴うコロナ感染事例について(秋田学校教育学科長)
- ⑨3人制プロバスケットボール「Sリーグ」への体育館貸出について(赤羽総務課長)
- ⑩松本市からの依頼事項について(赤羽総務課長)

第3回 6月29日(水)17:00~18:20 欠席者なし

[審議事項]

- ①2023年度 客員教授の採用について(菅谷学長)審議・了承
- ②「松本大学個人情報保護細則」の改正について(赤羽事務局長)審議・了承
- ③「松本大学出前講義に関する手当の内規」の改正について(赤羽事務局長)審議・了承
- ④「松本大学教育学部スカラシップ生規程」の改正について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承
- ⑤シラバスがない場合の編入学希望者への対応について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承
- ⑥2022年度 松本大学防災士養成研修講座の開催(8/27(土)・28(日))について(尻無浜地域防災科学研究所副所長)審議・了承
- ⑦施設貸出について(赤羽総務課長)審議・了承
- ⑧2022年度公務員試験対策講座の申し込み状況並びに予想される補助金額について(浜崎公務員試験対策講座運営委員会担当)審議・了承
- ⑨第一体育館の改修工事について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

- ①松商学園高校との高大連携について(赤羽事務局長)
- ②私立大学の入学定員基準の緩和について(山田全学入試・広報委員長)
- ③受審予定の大学機関別認証評価の評価員および『自己点検評価書』の進捗状況について(赤羽事務局長、等々力IR委員長)
- ④「発明の届出書」について(増尾研究推進委員長)
- ⑤2022年度 卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑥松本信用金庫からの申し入れについて(赤羽事務局長)
- ⑦県内短大・高校連絡懇談会の開催(8/29(月))について(浜崎学部長)
- ⑧松本大学活動制限指針について(等々力対策副本部長)

第4回 7月27日(水)17:00~18:35 欠席者なし

[審議事項]

- ①総経・人間教職センターの採用人事(心理学分野)について(岸田全学教職センター運営委員会担当)審議・了承
- ②総経・人間教職センターの採用人事(教育学分野)について(岸田全学教職センター運営委員会担当)審議・了承
- ③「松本大学学長・副学長・研究科長・学部長・学科長および専任教員(教授・准教授・講師・助手)の昇進に関する規程」の改正について(赤羽事務局長)審議・了承

- ④「松本大学大学院研究科長選考規程」「松本大学学部長及び学科長選考規程」「松本大学松商短期学部長及び学科長選考規程」「松本大学専任教育職員の任用及び昇進に関する規程」の改正について(赤羽事務局長)審議・了承
- ⑤「松本大学特待生規程」「松本大学松商短期学部特待生規程」「松本大学特待生内規」「松本大学松商短期学部特待生内規」の改正について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承
- ⑥学生の就活に関する個人情報の扱いについて(岸田全学就職委員会担当)審議・了承
- ⑦信州共創プラットフォームへの参加について(増尾副学長)審議・了承
- ⑧共有機器のネットワークについて(増尾研究推進委員長)審議・了承
- ⑨塩尻市「地域の人事部」実証事業への参加について(赤羽事務局長)審議・了承
- ⑩今年度の外部評価委員会の扱いについて(等々力副学長)審議・了承
- ⑪施設貸出について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

- ①機関別認証評価の全体スケジュールについて(赤羽総務課長、等々力副学長)
- ②2022年度 私立大学等改革総合支援事業対応について(赤羽事務局長)
- ③松商学園高校での学生募集説明会について(山田全学入試・広報委員長)
- ④2022年度 卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑤IR委員会関連事項：
 - i) 来年度からの新教務システム導入に伴う授業アンケートシステム(FDマネージャー)の扱いについて(赤羽事務局長)
 - ii) 2022年度「学修行動調査」「卒業生アンケート(2年目、新設)」「進路先アンケート(2年目、新設)」の質問内容について(等々力IR委員長)
- ⑥「改訂版 松本大学活動制限指針」の制限レベル4への引き上げ(7/22)について(等々力対策副本部長)
- ⑦「松大健康首都会議」の開催について(菅谷学長)
- ⑧第1体育館改修工事の工程について(赤羽総務課長)
- ⑨諏訪清陵高等学校の探究科目の授業への協力について(坂内入試広報室長)

第5回 9月28日(水)17:50~18:50 欠席者なし

[審議事項]

- ①総合型選抜(指定競技)の強化部・重点部補充予定候補者について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承
- ②和合治久氏の本学客員教授(6月29日本協議会で承認済み)任用期日の前倒しについて(菅谷学長)審議・了承
- ③「松本大学研究活動における不正行為への対応に関する規程」の再修正について(増尾研究推進委員長)審議・了承
- ④「松本大学ゲスト用Wi-Fi接続サービスのルール」について(尻無浜情報センター運営委員会担当)審議・了承
- ⑤松本大学リカレント教育(案)について(菅谷学長、浜崎副学長)審議・了承
- ⑥塩尻市「地域の人事部」協議会への参加について(等々力副学長)審議・了承

[報告事項]

- ①2023年度 編・転入学者選抜I期入試の実施結果(9/16)および総合型選抜の申し込み状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ②松商高校の指定校人数(確定)について(山田全学入試・広報委員長)
- ③機関別認証評価に係る「書面質問及び依頼事項」への対応状況並びに実地調査について(赤羽総務課長)
- ④第1回 松本大学健康首都会議開催(12/3~4)について(菅谷学長、高木地域連携委員長)
- ⑤第1回 三大学学生交流課題研究会議(9/9~11)開催状況および三大学間での連携協定締結について(菅谷学長、尻無浜学部長)

⑥IR委員会(等々力委員長)

i)「2022年度 施設利用満足度調査」の実施について

ii)成績評価基準変更後の評価分布の検証について

⑦2023年度 教員採用試験(第一次・二次試験)の受験結果(総経・人間、教育学部)について(岸田全学教職センター運営委員会担当)

⑧2022年度 卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

第6回 10月26日(水)17:00~18:45 欠席者なし

[審議事項]

①学則および各種規程の変更・改正について(赤羽事務局長、岸田全学学生委員会担当)審議・了承

②総合型選抜(指定競技)の強化部・重点部補充予定候補者の追加について(山田全学入試・広報委員長)審議・了承

③プレジデント大学との国際交流協定について(尻無浜国際交流センター運営委員会担当)審議・了承

⑤強化部・重点部のあり方検討会議の設置について(等々力副学長)審議・了承

⑥2023年度 年間行事予定(一斉休校期間・全館停電計画・計画休業日)について(赤羽総務課長)審議・了承

⑦施設貸出について(赤羽総務課長、等々力対策副本部長)審議・了承

[報告事項]

①機関別認証評価実地調査結果について(赤羽総務課長)

②2023年度の一般選抜および大学入学共通テストの志望動向について(山田全学入試・広報委員長)

③令和5年度大学入学共通テスト「監督者会議」等の日程について(赤羽総務課長)

④令和5(2023)年度科学研究費助成事業申請状況について(増尾研究推進委員長)

⑤私立大学等改革総合支援事業の申請資料(調査票)について(赤羽総務課長)

⑥第1回 松本大学健康首都会議(12/3~4)の準備状況について(高木地域連携委員長)

⑦2022年度 第1回FD・SD研修会他について(等々力FD・SD委員長)

⑧2023年度 教員採用試験(第一次・二次試験)の受験結果(教育学部、総経・人間)について(岸田全学教職センター運営委員会担当)

⑨2022年度 卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

⑩日本学術振興会特別研究員の採用内定について(山田健康科学研究科長)

⑪その他

i)企業連携について(尻無浜学部長)

ii)大学運営について(菅谷学長)

第7回 11月23日(水)17:00~18:25 欠席者:秋田、赤羽(雄)

[審議事項]

①各種規程の改正(修正)について最終確認(赤羽事務局長)審議・了承

②人事評価シート案について(増尾副学長)審議・了承

③周年事業検討・企画会議の立ち上げについて(赤羽事務局長)審議・了承

④長野県教育委員会からの「生徒育成方針」に係る調査への協力依頼について(浜崎副学長)審議・再提案

⑤全国学生調査(文部科学省)の実施期間について(赤羽事務局長)審議・了承

⑥広島国際大学視察(11月30日(水))の受け入れについて(中島地域健康支援ステーション運営委員長)審議・了承

⑦施設利用・貸出について(尻無浜学部長・赤羽事務局長)審議・了承

[報告事項]

①学校推薦型選抜前期(大学・短大)の実施状況について(山田全学入試・広報委員長)

②第1回 松本大学健康首都会議(12/3~4)の開催延期について(高木地域連携委員長)

③2022年度 第1回FD・SD研修会他について(等々力FD・SD委員長)

- ④図書館洋書架に発生しているカビの現状について(清水図書館運営委員長)
- ⑤2022年度公務員試験受験状況について(浜崎公務員試験対策講座運営委員長)
- ⑥2022年度卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑦その他
 - i) 教員採用試験結果について(岸田全学教職センター運営委員会担当)
 - ii) テレビ放送への本学教員の出演について(坂内入試広報室長)

第8回 12月23日(金)17:10~18:30 欠席者：中島

[審議事項]

- ①全学教職センターの採用人事について(岸田全学教職センター運営委員会担当) 審議・了承
- ②専門員の採用について
 - i) 地域づくり考房『ゆめ』専門員の雇用延長について(根本地域連携部門担当) 審議・了承
 - ii) 地域健康支援ステーション専門員の採用人事について(根本地域連携部門担当) 審議・了承
- ③松本大学リカレント教育の実施具体案について(浜崎副学長) 審議・了承
- ④2023年度公務員試験対策講座について(浜崎公務員試験対策講座運営委員長) 審議・了承
- ⑤第1回 松本大学健康首都会議の開催日時(3月4日(土)・5日(日))について(高木地域連携委員長) 審議・了承
- ⑥施設利用・貸出について(赤羽総務課長) 審議・了承

[報告事項]

- ①学校推薦型選抜後期(大学・短大)の実施状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ②機関別認証評価 評価チーム評価報告書案について(赤羽総務課長)
- ③長野県教育委員会からの「生徒育成方針」に係る調査への協力依頼について(継続)(浜崎副学長)
- ④長野県ふるさと信州寄付金「私立学校応援」学校登録について(赤羽事務局長)
- ⑤内部質保証室関係
 - i) FD・SD委員会(等々力委員長)
 - ・2023年度教育企画推進経費について
 - ・2022年度第1回FD研修会について
 - ii) IR委員会(等々力委員長)
 - ・アセスメント・ポリシーの見直しについて
 - ・教職関係の進路先アンケートの実施について
 - ・2022年度 卒業時アンケート及び進路先アンケートの質問事項について
 - ・卒業生アンケート(2年目)と進路先アンケート(3年目)の分析報告について
- ⑥2022年度卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑦その他
 - i) 県内への大学誘致について(赤羽事務局長)
 - ii) 人事評価シート案について(増尾副学長)
 - iii) 研究推進委員会報告(増尾研究推進委員長)

第9回 1月25日(水)17:00~18:15 欠席者なし

[審議事項]

- ①学則変更について(再提案)(赤羽事務局長) 審議・了承
- ②地域健康支援ステーション専門員の採用について(中島地域健康支援ステーション運営委員長) 審議・了承
- ③基礎教育センター篠島良一専門員の雇用延長について(赤羽事務局長) 審議・了承
- ④人事評価制度の2023年度試行導入について(増尾副学長) 審議・了承
- ⑤周年記念式典の日程について(赤羽事務局長) 審議・了承
- ⑥卒業記念パーティー(3月17日(金))について(赤羽総務課長) 審議・了承

- ⑦2023年度開学記念パーティーについて(赤羽総務課長)審議・了承
- ⑧第2回マーケティング塾の開催について(根本地域連携部門担当)審議・了承
- ⑨長野県教育委員会からの「生徒育成方針」に係る調査への協力依頼について(継続)(浜崎副学長)審議・了承
- ⑩木曾青峰高校との「高校野球部年間栄養サポート」に関する連携協定書の締結について(根本地域連携部門担当)審議・了承

[報告事項]

- ①一般選抜Aの志願状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ②2023年度事業計画の作成について(依頼)(赤羽事務局長)
- ③2023年度諸委員の選出について(依頼)(等々力副学長)
- ④2022年度人事評価シートの記入・提出について(依頼)(等々力副学長)
- ⑤機関別認証評価・評価チーム評価報告書案への回答について(赤羽総務課長)
- ⑥内部質保証室関係
 - i)FD・SD委員会(等々力委員長)
 - ・第2回FD・SD研修会の開催について
 - ・第1回FD・SD研修会の視聴状況について
 - ii)IR委員会(等々力IR委員長)
 - ・2022年度学修行動調査結果及び報告書のホームページ掲載について
 - ・2021(令和3)年度全国学生調査(第2回試行実施)集計結果の扱いについて
 - ・各学部・学科のアセスメント・ポリシーの見直し案について
- ⑦2022年度卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)
- ⑧教員の異動について(赤羽事務局長)

第10回 2月22日(水)15:00~16:40 欠席者:畑井

[審議事項]

- ①2023年度客員教授の委嘱について(赤羽事務局長)審議・了承
- ②全学教職センター採用教員の所属学部・学科について(岸田全学教職センター運営委員会担当)審議・了承
- ③男子サッカー部コーチの採用人事について(岸田全学学生委員会担当)審議・了承
- ④「松本大学教育職員評価」の改定について(最終確認)(増尾副学長)審議・了承
- ⑤「2023年度事業計画」について(菅谷学長、赤羽事務局長)審議・了承
- ⑥2023年度諸委員(第1次案)について(浜崎副学長)審議・了承
- ⑦各種規程及び内規の改廃について(各担当者)審議・了承
- ⑧2023年度入学式について(赤羽総務課長)審議・了承
- ⑨2023年度前期の授業形式について(浜崎全学教務委員会担当)審議・了承
- ⑩学位授与式(3月17日(金))後の集合写真の撮影について(等々力対策副本部長)審議・了承
- ⑪施設貸出について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

- ①2023/24年度の副学長について(菅谷学長)
- ②一般選抜A・大学入学共通テスト利用選抜I期の結果と一般選抜B・大学入学共通テスト利用選抜II期の出願状況について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試広報室長)
- ③機関別認証評価・評価報告書案について(赤羽総務課長)
- ④令和4年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果について(赤羽事務局長)
- ⑤内部質保証室関係
 - i)IR委員会(等々力IR委員長)
 - ・各学部・学科のアセスメント・ポリシーの見直し案について

ii)FD・SD委員会：等々力FD・SD委員長

・第2回FD・SD研修会の延期について

⑥2022年度卒業予定生の就職内定率について(岸田全学就職委員会担当)

⑦松本大学健康首都会議(3月4日(土)・5日(日))について(高木地域連携委員長)

第11回 3月22日(水)15:00~16:00 欠席者：和田

[審議事項]

①「2023年度 松本大学委員会構成(案)」について(浜崎副学長)審議・了承

②「2023年度 年間予定表(案)」について(赤羽事務局長)審議・了承

③「2023年度 第1回合同教授会議(案)」について(浜崎副学長)審議・了承

④2023年度からの教員評価制度の運用担当者について(菅谷学長)審議・了承

⑤新年度からの新型コロナウイルス感染症対策について(菅谷対策本部長)

⑥施設貸出について(赤羽総務課長)審議・了承

[報告事項]

①一般選抜・大学入学共通テストの入学手続き状況について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試広報室長)

②「松本大学上野奨学基金及び赤羽奨学基金の推薦に関する内規」の改正について(赤羽事務局長)

③非常勤講師の委嘱に係る労働条件の見直しについて(浜崎全学教務委員会担当、畑井全学教務委員長)

④令和4年度機関別認証評価・評価結果について(赤羽総務課長)

⑤「2022年度 学長賞候補者(案)」について(菅谷学長)

⑥「2023年度 事業計画」について(赤羽事務局長)

⑦上高地線「北新・松本大学前駅」周辺の環境整備の中間報告について(菅谷学長)

⑧「2022年度 事業報告」について(赤羽事務局長)

⑨2023年度の会議日程について(赤羽総務課長)

⑩2023年度の高等教育コンソーシアム信州の担当者について(等々力副学長)

⑪内部質保証室関係

i)IR委員会(等々力委員長)

・各学部・学科のアセスメント・ポリシーについて

ii)FD・SD委員会(等々力委員長)

・第2回FD・SD研修会の視聴期間の延長(~3/20(月))について

⑫第1回 松本大学健康首都会議の開催状況について(菅谷学長、高木地域連携委員長)

⑬2022年度卒業予定生の就職内定状況について(岸田全学就職委員会担当)

2) 事業・活動

①全学的組織の改廃及び学部横断的人事に関する審議と決定

・全学教職センター、総経・人間教職センター、教職支援センター、基礎教育センターの後任人事に関する担当者の決定

・2023年度客員教授の採用

・強化部・重点部の在り方検討会議の設置

・全学教職センター、総経・人間教職センター専任教員の採用

・地域づくり考房『ゆめ』専門員の雇用延長

・地域健康支援ステーション専門員の採用

・基礎教育センター専門員の雇用延長

・全学教職センター採用教員の所属学部・学科の決定

・男子サッカー部コーチの採用

②学則および各種規程の審議・了承

- ・松本大学学則の一部改正
- ・松本大学松商短期大学部学則の一部改正
- ・松本大学大学院研究科長選考規程、松本大学学部長及び学科長選考規程、松本大学松商短期大学部長および学科長選考規程、松本大学専任教職員の任用及び昇進に関する規程の制定
- ・松本大学学長・副学長・研究科長・学部長・学科長および専任教員(教授・准教授・講師・助手)の昇進に関する規程の改正
- ・松本大学総務委員会規程の制定
- ・学業成績優秀者表彰規程及び学業成績上位者表彰規程の改正
- ・松本大学経済的困窮学生の授業料減免に関する規程の改正
- ・松本大学教育学部スカラシップ生規程の改正
- ・松本大学特待生規程、松本大学松商短期大学部特待生規程の改正
- ・松本大学研究活動における不正行為への対応に関する規程の改正
- ③教学マネジメントに関する事項
 - ・各研究科・学部アセスメント：ポリシーの見直し
 - ・試験結果を踏まえた授業アンケートの実施状況と結果の確認
 - ・卒業予定者アンケートの実施および結果分析と公表
 - ・就職先企業に対するアンケートの実施並びに結果分析と公表
 - ・大学及び短期大学部の学習行動調査の実施並びに結果分析と公表
- ④その他
 - ・各種選抜入試に関する諸事項の検討・決定並びに実施状況の把握
 - ・人事評価制度導入への対応(「松本大学教育職員評価」の改正)
 - ・2022年度事業報告並びに2023年度事業計画の策定
 - ・周年事業の検討・決定
 - ・松本大学リカレント教育実施案の検討・決定
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応の検討・決定
 - ・各種申請等の調整
 - ・本学における学会等の開催確認と支援(施設貸し出し)
 - ・信州共創プラットフォームへの参加の検討・決定
 - ・自治体並びに企業等との連携協定の審議・承認と締結の支援
 - ・塩尻市「地域の人事部」実証事業への参加の検討・決定

(2) 全学運営会議 (構成員 教員8名、事務局2名 計10名)

学長、副学長、各研究科長・学部長、事務局長、総務課長を構成員とする全学運営会議は、基本的には隔週で開催し、全学的・学部横断的な課題・事項および報告などについて協議、整理して、月に1回開催される全学協議会に上程、報告することで、その円滑な運営に資することを主要な任務としている。したがって、本会議で取り扱った協議事項並びに報告事項は、ほぼ全てが全学協議会におけるものと重なっていることから、ここでは省略することとする。

当会議の議長は副学長が務め、各構成員は、委員会が対象とする業務内容などを考慮して複数の委員会を大括りにした部門、委員会を担当し、それと全学運営会議との連絡・連携を図るとともに、必要に応じて担当する部門、委員会における課題や問題などを全学運営会議に反映させることとしている。そうした使命を遂行するために、2022年度は、通常は火曜日5限に、長期休み中は会議の開始時刻を柔軟に設定し、計23回の会議を持った。

当会議は各種規程の整備を主管しており、各委員会などで検討・承認されたものについても、全学的あるいは法人理事会などとの関係といった視点から再度点検し、必要な場合には改正を施すなど適切に対応してきている。また、この間進められてきた人事評価制度の導入に関連して、3名の副学長と事務局長から

なるWG(責任者・増尾副学長)が提示した原案について、全学運営会議において鋭意検討し原案として取りまとめ、必要に応じて全学協議会に諮ることなどによって、計画どおり2023年度の試行的導入を迎えることができた。さらに、昨年度同様、「私立大学等改革総合支援事業」への申請対応を目的に臨時の会議を8月末に2日連続で開催し、松本大学はタイプ3が(短大部は採択なし)採択された。

(3) コンプライアンス委員会 (全学運営会議メンバーと同一)

コンプライアンス委員会は、2019年度まで自己点検・評価委員会の中にコンプライアンス推進部会としておかれていたが、2020年度に、法人全体を統一するとの観点から法人として「コンプライアンス委員会」を設置したことを受け、本学も部会から委員会へと変更し根拠規程として「松本大学コンプライアンス委員会規程」を整備した。委員会活動としては、前年度同様、4月1日の年度始めに開催された合同教授会において、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」を配付するとともに、「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」について周知し遵守を呼びかけ、同規程・ガイドラインを遵守する旨の誓約書が全教員から提出されている。以上は定例化されたものであるが、形式に墮することのないよう、e-learningの実施や書籍の配布などをもって内容の一層の充実に向けた結果、年間を通じてコンプライアンスを巡って取り上げるべき案件は発生しなかった。

(4) 内部質保証室 (全学運営会議メンバーと同一)

内部質保証に関連する自己点検・評価、FD・SD、IRの3委員会を統括する「内部質保証室」は、2019年度に設置され、全学運営会議のメンバーを構成員とし、学長が室長としてマネジメントしている。2022年度における本会議の開催状況は、審議事項を扱った会議に絞ると以下のとおりであり、その後に各委員会の特徴的な案件についてまとめている。

第1回 4月12日(火)18:10~18:30 欠席者なし

[審議事項]

i) 自己点検・評価委員会

- ・2021年度外部評価委員会委員の評価シートの扱いについて(等々力委員長)審議・了承

ii) IR委員会

- ・アセスメント・ポリシーの見直しについて(浜崎副学長)審議・了承

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・2021年度 第1回FD・SD研修会の視聴結果について(等々力委員長)

第2回 4月26日(火)16:50~17:15 欠席者：菅谷

[審議事項]

i) FD・SD委員会

- ・2022年度 授業アンケート実施科目及び日程について(等々力委員長)審議・一部修正の上了承

ii) IR委員会

- ・健康栄養学科からのIR活動の申し出について(等々力IR委員長)審議・了承

iii) 自己点検・評価委員会

- ・2021年度外部評価委員会委員の評価シートの扱いについて(等々力委員長)審議・了承

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・2021年度後期ティーチング・ポートフォリオの記入状況について(等々力委員長)

- ・令和3年度「全国学生調査(第2回試行実施)」結果について(等々力D委員長)

第3回 7月12日(火)16:50~17:15 欠席者：赤羽(研)

[審議事項]

i) IR委員会

- ・来年度からの新教務システム導入に伴う授業アンケートシステム(FDマネージャー)の扱いについて(等々力委員長)審議・継続
- ・2022年度「学修行動調査」「卒業生アンケート(2年目、新設)」「進路先アンケート(2年目、新設)」の質問内容について(等々力委員長)審議・了承

[報告事項]

i) IR委員会

- ・2021年度進路先アンケート(ゼロ年目)の集計結果及び扱いについて(等々力委員長)審議・了承

第4回 7月26日(火)16:50~17:15 欠席者なし

[審議事項]

i) IR委員会

- ・来年度からの新教務システム導入に伴う授業アンケートシステム(FDマネージャー)の扱いについて(継続)(赤羽事務局長)説明・了承
- ・2022年度「卒業生アンケート(2年目、新設)」「進路先アンケート(2年目、新設)」の質問内容について(継続)(等々力委員長)審議・了承

第5回 8月23日(火)10:00~11:00 欠席者：根本、岸田、赤羽(雄)

[審議事項]

i) IR委員会

- ・「2022年度 施設利用満足度調査」の実施について(等々力委員長)審議・了承
- ・「成績評価基準変更後の評価分布の検証」について(等々力委員長、野田委員)審議・了承

第6回 12月6日(火)16:50~17:00 欠席者：赤羽(雄)

[報告事項]

i) IR委員会

- ・2022年度卒業時アンケートおよび進路先アンケートの質問事項について(等々力委員長)
- ・教職の進路先アンケートの実施について(等々力委員長)
- ・卒業生アンケート(2年目)と企業アンケート(3年目)の分析報告について(等々力委員長)

第7回 12月20日(火)18:30~18:45 欠席者なし

[審議事項]

i) FD・SD委員会

- ・2023年度教育企画推進経費について(等々力委員長)審議・了承

[報告事項]

i) IR委員会

- ・アセスメント・ポリシーの見直しについて(等々力委員長)
- ・2022年度学修行動調査結果および報告書について(等々力委員長)
- ・2022年度卒業時アンケートおよび進路先アンケートの質問事項について(等々力委員長)
- ・卒業生アンケート(2年目)と企業アンケート(3年目)の分析報告について(等々力委員長)

第8回 1月10日(火)16:50~17:00 欠席者：増尾

[審議事項]

i) FD・SD委員会

- ・第2回FD・SD研修会について(等々力委員長)審議・了承

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・第1回FD・SD研修会の視聴状況等について(等々力委員長)

ii) IR委員会

- ・2022年度学修行動調査結果および報告書について(等々力委員長)

第9回 1月24日(火)16:50~17:00 欠席者なし

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・第2回FD・SD研修会の開催について(等々力委員長)

ii) IR委員会

- ・2021(令和3)年度全国学生調査(第2回試行実施)集計結果の扱いについて(等々力委員長)

第10回 2月21日(火)15:00~15:15 欠席者：菅谷

[審議事項]

i) IR委員会

- ・各学部・学科のアセスメント・ポリシーの見直し案の扱いについて(等々力委員長) 審議・了承

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・第2回FD・SD研修会の延期について(等々力委員長)

第11回 3月7日(火)15:00~15:05 欠席者：尻無浜

[審議事項]

i) IR委員会

- ・2023年度以降の各学部・学科のアセスメント・ポリシーの見直し案について(最終確認)(等々力委員長)

- 審議・了承

[報告事項]

i) FD・SD委員会

- ・第2回FD・SD研修会の視聴依頼について(等々力委員長)

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、2020年度まで、「認証評価準備部会」と「コンプライアンス推進部会」を内部組織として置いていたものの、前者については、2022年度受審に向けた実務組織として「認証評価準備WG」を別途立ち上げたことおよび、昨(2021)年度前期に委員会規程の全面的改正がなされたことなどを機に廃止することとした。また、後者については、法人全体を統括するとの組織決定を踏まえて「コンプライアンス委員会」が独立して設置され、それを踏まえて「松本大学コンプライアンス委員会規程」が整備されたことから、前者と同様の措置を採って廃止された。その活動状況は既述のとおりである。

なお、「認証評価準備WG」は、2021年度から2022年度に限定された組織として本委員会の下に設けられ、WGメンバーを中心に準備を確実に進め受審した結果、特段の指摘事項もなく認証評価を得ることができた。

加えて、当委員会は『アニュアル・レポート』『自己点検・評価報告書』『学生版アニュアル・レポート』3誌の編集・発行も担当しており、2022年度版については、『自己点検・評価報告書』が11月に発行できたのをはじめ、『アニュアル・レポート』が11月、『学生版アニュアル・レポート』2023年1月と、いずれも年度内に発行することができた。また、2019年度から始まった教員評価の取り組みについても、各教員自身による自己評価が第一次評価者の研究科長・各学部長に提出された後、第二次評価者の学長に提出され、それぞれの段階で評価を受けている。さらに、全学協議会を「教学マネジメント」を司る組織と位置づけた2020年度の確認を受け、今年度もまた、全学運営会議メンバー中の全学教務委員会担当者を通じて全学的な教学関係課題・事項を的確・適切に把握し、教学マネジメントを実効あらしめるべく努めた。

2) FD・SD委員会

FD・SD委員会は、2020年度まで「FD・SD立案推進部会」と「教育企画推進部会」の2部会を擁し、2018年度から全学運営会議メンバーを委員として、FD・SD研修会の企画・立案、実施を主管するとともに、学部・学科を単位とする教育改革に資する「教育企画推進」をも担当してきている。なお、前者は、アンケートの実施部署を確定できたことから廃止し、その業務をFD・SD委員会が所管することとした。なお、各

アンケートの実施担当部署については、授業アンケート、卒業時アンケートおよび学修行動調査は教務課が、卒業生アンケートおよび企業アンケートはキャリアセンターが、施設利用満足度調査は学生課が、それぞれ担当することが確認されている。

このように、本委員会は、授業アンケートおよび学修行動調査など各種アンケート・調査についても主管しており、2022年度もまた、それらを滞りなく実施し、2021年度卒業時アンケートおよび学修行動調査の結果については、FD・SD研修会で取り上げ、全体的な傾向と同時に個別に指摘された事項についても、参加した教職員に紹介し、対応策の検討を依頼した。

また、授業アンケートの回答率については、80%を超えることが通例であった従来に比べ伸びず、学部はおおよそ6割、短大は7割の回答率であった。

教育企画については、2022年度は以下の6件の申請があり、費用の査定を経て実施に移され、報告文章が本レポートに掲載されている。

2022年度 教育企画一覧

学科名等	申請テーマ	予算額	決算額	執行
総合経営	e-ラーニングシステムを使った基礎学力の向上とweb採用テストへの対応	950,000	879,199	92.5%
観光ホスピタリティ	観光ホスピタリティ学科における主要4資格取得強化策の取り組み(旅行業務取扱管理者・社会福祉士・社会教育士・防災士)	500,000	242,198	48.4%
健康栄養	管理栄養士国家試験受験支援	672,000	484,000	72.0%
スポーツ健康	スポーツ映像分析	624,000	419,860	67.3%
短期大学部	オリジナルテキスト作成	600,000	-	0.0%
全学	平和教育活動	1,000,000	700,121	70.0%
全体	6件	4,346,000	2,725,378	62.7%

また、FD・SD活動については、今年度は下記のように通算2回の研修会が持たれ、出欠をチェックした上で、年度末の教員の自己評価にも活かされた。

2022年度 FD・SD研修会一覧

実施日	種類	研修テーマ	講師	参加数	参加率
12/2	FD	①成績評価分布の検証 ②新教学システムでのシラバス入稿	①内部質保証室 野田・丸山 ②教務課小澤	教員88名	87.1%
3/3	FD・SD	①学修行動調査から見えるコロナ禍前後の学生の変化—全国学生調査から予想する文科省の次の一手 ②「UniversalPassport」簡易版マニュアルのご説明	①内部質保証室 野田・丸山 ②教務課小澤	教員86名 職員60名 (計146名)	80.7%

3) IR委員会

ここ3年間のコロナ禍が、全国の大学受験者層に大きな影響を及ぼしてきたことは周知のとおりである。本学も例外ではなく、受験者が層・量共に大きく変化している。したがって、そうした状況にフィットした募集方法、そして、入学者層の変化にともなう教育・学修のあり方の創造など新たな対応が求められているのは多言を要さない。そうした状況を踏まえ、いずれの学科においても、試験時の成績や入学後の成績、

あるいは卒業後の進路など、大学生生活の全てのステージを通したデータの収集と分析が必要であり、その理解を深めるためのIR活動が必要・不可欠になっている。本学では、それに応える活動は緒に着いたばかりであるが、その前段階としてのデータ収集、あるいは卒業後2年目あるいは4年目の卒業生およびその就職先企業等に対するアンケートの実施などの取り組みを始めている。また、それを専門に担当する人材として2022年1月に1名を採用し、今年度はさらにもう1名を配置した。

2022度のIR活動としてまず取り上げるべきこととして、最重要の課題であった認証評価受審に必要な諸データの準備と提供に遅滞なく取り組んだことが挙げられる。さらに、懸案であったアセスメント・ポリシーの見直しや、卒業後4年目の卒業生及びその就職先企業に対するアンケートの作成と実施などについても、設置目的に沿った活動が進められつつある。

B：保険・衛生

(1) 健康安全センター運営委員会

1) 学生の健康管理

①学生健康診断

- ・ 4月5日～8日 受診者数：2,188名
- ・ 5月～ 外部医療機関受診者：60名
- ・ 胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導：2名
- ・ 内科診察 要精密検査該当学生保健指導：12名
- ・ 尿再検査対応：153名

②学校感染症抗体検査

- 5月30日～6月1日：255名
- 結果返却・事後指導

③保健師対応

- 4月1日～3月31日 学生利用 実人数221名／延べ人数309名
- 急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談など
- 救急搬送 3件(熱中症疑い、交通事故、部活動中顔面打撲)
- ※保護者相談対応 実人数4名／延べ人数11名

④カウンセラー対応

- 4月1日～3月31日 学生利用 実人数22名／延べ人数32名
- 学生保護者対応 実人数1名／延べ人数1名

2) 学生への健康教育

- 6月3日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「大学生のメンタルヘルス」
- 12月23日 健康栄養学科1年生「医療機関における他職種連携」

3) 救護対応

- 11月12日 総合型選抜(大学)
- 11月19日 推薦型選抜前期(大学)
- 11月20日 推薦型選抜前期(短大)
- 12月10日 推薦型選抜後期(短大)
- 12月11日 推薦型選抜後期(大学)
- 1月14日・15日 大学入学共通テスト
- 2月4日・5日 一般選抜A
- 2月24日 一般選抜B

3月13日 一般選抜C

4) 安全な学習・就業環境の整備

① AED(自動体外式徐細動器)の整備

- ・日常点検の徹底
- ・消耗品等適宜整備

② 救急箱の整備・貸し出し

4月1日～3月31日 貸し出し実績：3件

5) 感染症対応

① 新型コロナウイルス感染症対応

4月1日～3月31日 感染者・感染疑い・濃厚接触者・ワクチン副反応等対応：1,533件

集団発生対応：8件

11月25日 長野県新型コロナワクチン出張接種

学生：95名、教職員：32名、教職員家族：2名

② インフルエンザ

- ・学内感染者の把握・情報収集

4月1日～3月31日 インフルエンザ感染報告・登校および出勤禁止措置

学生26名・教職員なし

- ・感染拡大防止対策

インフルエンザ予防接種の実施

11月24日 教職員117名・学生79名(強化部)

6) 学生寮の衛生管理

① 松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の次亜塩素酸水による消毒指導、消毒薬準備

② 松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

7) 心肺蘇生法啓蒙活動

9月14日 学校教育学科2年生 心肺蘇生講習

11月29日・12月5日 観光ホスピタリティ学科 1年生 心肺蘇生講習

8) 障がい学生支援

障がい学生支援会議のメンバーとして、障がいをもつ学生の状況、必要な支援などの検討に参加した(対象者：7名)。

9) 学会・研修

9月1日・2日 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 研究集会

保健・看護分科講演会(演者：コロナ禍における保健室業務)

11月17日 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 看護職初任者講習会(講師)

10) 全国大学保健管理協会

2013年4月1日～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 保健看護分科会 運営委員に保健師が就任。

2020年度より保健看護分科会 運営委員会副委員長、関東甲信越地方部会 私立大学幹事、全国大学保健管理協会 評議員に就任。

11) 会議

長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野県 大学保健管理施設担当者会議」を開催。

9月8日 第10回担当者会議(リモート)

2月7日 第11回担当者会議(リモート)

(2) 衛生委員会

2022年度においては、主として次のような取り組みを行った。

1) 教職員の健康管理

①健康診断

6月1日・15日 教職員定期健康診断(松本大学)88名

6月～3月 教職員健康診断(医師会医療センター)8名

6月～2月 教職員胃検診(松本市医師会医療センター)14名

4月～3月 人間ドック 受診78名

健康診断・胃検診・人間ドック受診者に対し、結果の説明、保健指導を実施した。

②保健師対応

4月1日～3月31日 実人数29名／延べ人数34名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

救急搬送：1件、医療機関搬送(健康安全センター)1件

③カウンセラー対応

4月1日～3月31日 実人数5名／延べ人数12名

学生に関する相談 など

2) インフルエンザ予防接種

11月24日 117名

学内で接種を受ける教職員に対し、1,700円の補助を実施。

3) 新型コロナウイルス感染症感染予防・感染拡大防止対応

教職員に対して、感染予防行動の啓蒙周知、体調不良時の出勤停止措置対応、感染についての相談対応などを行った。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席し、専門的見地から感染防止対策に努めた。

4) ストレスチェック

1月実施 回答数195件

分析結果の配布、高ストレス者のうち希望者への事後指導実施。

(3) 人権委員会

人権委員会は、ハラスメント防止と個人情報保護推進への取り組みを中心に、委員は各学部・学科から教員8名(女性5名、男性3名)、事務局長を含む各事務部署から職員5名(女性2名、男性3名)の合計13名(女性7名、男性6名)で構成されている。また、ハラスメント等の相談を受けるハラスメント相談員には、12名(女性6名、男性6名)が選出されている。

1) ハラスメント防止

2022年度本学ハラスメント相談員の氏名を本大学HPで公開した。

6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に、人権意識の啓発活動の一環として学内にポスターを掲示した。

学校法人松商学園が制定した「学校法人松商学園ハラスメント防止規程」(以下、学園規程)の施行(2021年11月30日付)を受け、学園規程と「松本大学ハラスメントの防止に関する規程」(以下、大学規程)との整合性の確認が必要となり、大学規程をこれまで通り存続させ、運用するための手続き(大学規程第1条の若干改正)を人権委員長が確認した。

学園規程に基づく処分について事務局長より報告があった。

2) 個人情報保護

2022年度において、特別な活動はなかった。

C：施設管理

(1) 施設管理運営委員会

2022年度における施設設備の整備に関する主な事業は次のとおりである。

①第一体育館吊り天井の改修工事

工事日程について事前調整が十分でなかったところがあり、体育館内部工事を授業になるべく影響が少ない冬季に行うこととしたため、当初計画より工期は長くなったものの、計画どおり改修工事を実施した。

②短期大学部校舎の環境改善、改修工事

設計業者から大規模改修と建替えそれぞれについていくつかの提案を受け、理事・大学連絡協議会で報告した。いずれの案も大規模な投資が必要であることから、短期大学の将来計画、資金回収計画と併せて継続して検討することとした。

③6号館講義室 AV 改修工事

当初計画のとおり実施した。

④受変電設備更新工事

一斉停電と併せて工事を実施する計画であったが、業者側で必要資材の調達に遅れが生じ、今年度の実施を見送ることとした。

⑤高額機器の購入と更新

2022年度においては、文部科学省の補助金を獲得して原子吸光光度計を購入した。複合機の購入、防犯カメラの更新については、予算・優先順位を総合的に判断し、今年度の実施を見送った。

⑥新型コロナウイルス感染症対策

同窓会から新型コロナウイルス感染症対策として寄贈された寄付金を活用し、学生センターや図書館、キャリアセンターに高性能・大型空気清浄機を追加設置した。コロナ禍が続く中、感染拡大防止及び学生の安心感をより一層高めることにつなげた。

(2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、大規模災害への対処、インターネット社会における情報セキュリティの確保、研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発、キャンパスの安全管理とハラスメント対策など、非常に広範囲にわたるものである。これらの課題に対する具体的な取り組みは、本委員会では環境保全と防犯・防災対策の2部内で進めており、主として次の活動を行った。

1) 環境保全

[活動実績]

①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて

- 回収した。また、常時学内に専用の箱を設置しエコ・キャップを回収した。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保全の観点に留意するように働きかけた。
 - ③大学全体の1年間の電気使用量は照明のLED化などにより予算内での支出で対応できた。

2) 防犯・防災対策

[活動実績]

①防火(消防)・防災(避難)訓練(2回/年)の実施

1回目の訓練は、9月30日に実施した(消防署からの指示により机上訓練を実施)。

2回目の訓練は、2月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により消防署からの指示により中止した。

②消防用設備定期点検(法定点検 2回/年)

1回目の点検は、8月24日～8月26日に実施した。

2回目の点検は、3月22日～3月24日に実施した。

1回目に指摘に基づいて自家発電設備のエンジンオイル、冷却水を交換した。2回目の点検で指摘を受けた8号館消火栓ポンプの動作不良については2023年度の是正を予定している。その他、2023年末までに交換が必要な消化器が107本、消火栓ホースが80本あるため、2023年度予算に交換費用を計上する予定である。

③防火設備点検(法定点検 1回/年)

8月25日に実施した。指摘を受けた是正箇所(防火シャッターの自動開閉装置のワイヤー調整、防火戸の順位調整器、ラッチの交換)については、10月29日、1月28日に対応した。

④防災管理点検(法定点検 1回/年)

8月24日・25日に実施した。ロッカー、書棚等の転倒防止処置と災害時の非常食、飲料、医薬品等の備蓄について指摘を受けた。指摘を受けたロッカー、書棚等について転倒防止措置を施した。

2. 入試広報部門

(1) 全学入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学部の代表および入試広報室の職員から構成されている。2022年度も大学院代表が委員長を務めた。

全学入試・広報委員会の役割は、①学生募集に関すること(オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など)、②入学者選抜に関すること(選抜試験改革への対応、選抜試験問題の作成と確認、選抜試験業務の運営など)、③①～②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、および④受験生・在学生・保護者・地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、関連組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討会と総合型選抜の企画・運営に携わるアドミッション・オフィス運営委員会がある。

1) 委員会開催

[開催日]

4月6日(水)、5月10日(火)、6月7日(火)、7月5日(火)、9月1日(木)、9月29日(木)、11月8日(火)、12月8日(木)、1月12日(木)、2月2日(木)、3月2日(木)(計11回)

[審議・決定事項]

①今年度の入学者選抜について

今年度に行う入学者選抜について下記のことを確認し行った。

〈全体〉

- ・新型コロナウイルス感染症警戒レベルに伴う入学者選抜の実施判断について、レベル5までは通常通り選抜を行い、レベル6(緊急事態宣言)の場合には延期して対応することとした。
- ・選抜試験において、新型コロナウイルス感染症感染による受験生の欠席が予想されるため、昨年度同様に、追試験は次回と同区分で行うこととし、同区分の入試が複数回ない場合は別日程で対応した。
- ・受験料の返金は、基本的には一切行わないことを募集要項に明記しているが、受験料の二重払いおよび、本人の責に帰さない場合(誤った指示等での出願等)には返金の対象とした。
- ・コロナ禍の2年間の総合型選抜における、アドミッション・ポリシーを理解していない志願者の増加等を受けて、総合型選抜への出願条件を2020年度以前の「オープンキャンパス時の総合型選抜説明会への参加を義務とする」に戻すこととした。
- ・入試判定議事録の書式を全学部で統一した。
- ・シラバスがない場合の編入学希望者については、本人と教務課、入試広報室、学科担当教員の4者で、事前相談の会合を設け、用意できる範囲内の資料に基づき、本人へのヒアリングや科目名等を見ながら個別に判断した。今後は、学生募集要項に「シラバスが準備できない場合は個別に相談を行うこと」の文言を追加し、場合によっては科目等履修生や大学院進学も可能である旨を説明することとした。
- ・管理栄養士養成課程の4年制専門学校からの編入希望者について、法律に基づき3年次修了資格を認め、健康栄養学科の3年次編入学を認めた。

〈総合経営学部〉

- ・総合型選抜(指定競技)は昨年までと同様、強化部のみを対象とした。また、総合型選抜(指定競技)にⅡ期は導入しなかった。

〈総合経営学科〉

- ・昨年度から変更なし。

〈観光ホスピタリティ学科〉

- ・指定校枠を見直した。既存の指定校枠の増枠に加えて、本学への入学実績がある県外の高校への指定校を検討した。

〈健康栄養学科〉

- ・指定校枠を見直した。評定値はそのまま、指定校を活用している高校を中心に増枠した。

〈スポーツ健康学科〉

- ・学科の特色を出した選抜試験になるように総合型選抜(指定競技)を拡大するため、総合型選抜(運動)は廃止した。
- ・総合型選抜(指定競技)に「冬季スポーツ」「自転車」の2種目を追加した。
- ・指定校での入学について50名程度の確保を目指し、指定校枠を90枠(うち新規30枠)に増枠した。
- ・一般選抜・大学入学共通テスト利用の受験科目の「国語」を必須科目からはずし、「地歴」「公民」を加えて、「国語・数学・英語・理科・地歴・公民から2科目選択」に変更した。
- ・転入学試験の「個人面接」を「個人面接(口述試験含む)」に変更した。

〈教育学部〉

- ・総合型選抜の「地域」区分を廃止し、「指定競技」を導入した。指定競技の内容は、スポーツ健康学科と同様とした。
- ・総合型選抜資格取得者の加点方式を見直した。
- ・指定校推薦基準の評定値を引き下げるとともに、指定校枠数を増やした。
- ・学校推薦型選抜(公募)の出願条件を評定値3.5以上から3.2以上へ変更した。
- ・一般スカラシップ選抜、大学入学共通テスト利用スカラシップ選抜の選抜区分を廃止した。これに伴い、学校推薦型選抜前期(指定校・公募)の募集定員を20名から30名に変更した。
- ・一般選抜A・Bと大学入学共通利用テストⅠ期・Ⅱ期において、必修科目を「国語」1教科から「国語」または「英語」の2教科から1教科を選択することとし、必修科目を除く「国語・数学・英語・地歴・公民・理科」から1教科選択の2教科とした。
- ・一般選抜Cと大学入学共通利用テストⅢ期において、「国語・数学・英語・地歴・公民・理科」のうちから2教科選択とした。

〈松商短期大学部〉

- ・総合型選抜Ⅲ期、社会人総合型選抜Ⅲ期を廃止した。
- ・指定校枠を見直した。東北信地域や県外の実績がある高校に対して増枠した。

〈大学院〉

- ・総合経営研究科修士課程に選抜Ⅰ期・Ⅱ期を設けた。

②オープンキャンパスについて

- ・予約の人数制限を撤廃したこと以外は、昨年度と同様に行った。

③広報について

- ・大学HPへのニュースリリースに関しては、退職後1年以内の依頼まで対応することとした。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する大学の対応や入学選抜実施の注意点について、随時、HP上で発信するとともに、学内で情報を共有した。
- ・本学公式HPを一部リニューアルした。
- ・Webキャンパスガイダンスや教員による講義等を動画配信した。
- ・高校訪問や高校からの来校要請(出前講義、進路相談等)、高校開催の進路ガイダンス、業者提案の会場型ガイダンスへの出席や高校生の大学見学、オープンキャンパス、入試相談会の開催について、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルに応じて中止したり、規模縮小および完全予約制の導入等を行って開催した。
- ・蒼穹の第147号～第150号を編集・発行した。「教育のさらなる質保証の向上を目指して—2つのアンケート調査を例にしたIR活動の取り組みから—」(2022年6月号)、「地域社会のニーズに応えるリカレント教育の現状と今後の展開」(2022年9月号)、「地域の広範な分野における“健康”をめざす 全力をあげて取り組む『松本大学健康首都会議』」(2022年12月号)、「『第1回松本大学健康首都会議』を開催～延べ1200名が広範な分野における健康講座を受講～」(2023年3月号)とした。

- ・次年度以降の3年間、大学案内、短大ナビゲーション、新冊子制作事業者の選定および次年度以降のオープンキャンパスに関わる広報物の制作等の委託業者の選定を行った。

④その他

- ・松商学園高等学校との間で、大学入試の現状と本学入学者に関する相互理解を深めるために、進路指導担当教員だけでなく3年生の担任教員と本学教職員とによる、4年連続で2サイクル目となる説明会を行った。相互に、現在の大学入試の状況と本学が求める学生像等について情報共有ができた。
- ・高等学校教員に対する学生募集説明会を本学において2日間対面で行った。
- ・教務課から提供された各種データ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生ブレインテスト、学修行動調査等)をふまえて入学者の追跡調査を行い、入試の妥当性について各学部学科において検討した。
- ・一般選抜Aの地方会場は昨年と同様、長野、甲府、新潟、高崎の4か所とした。
- ・「松本大学教育学部スカラシップ生規程」「松本大学特待生規程」「松本大学松商短期大学部特待生規程」を改正した。
- ・アドミッション・オフィス運営委員会から、現在予定している総合型選抜方法の実施が困難になった場合の代替案の提案を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度も昨年度同様に入試問題検討会の開催はせず、チェック担当教員と作題者の間で、個別に電話・オンライン・メールにて連絡を取り、問題を作成した。
- ・2023年度事業計画と2022年度事業報告を作成した。

2) 事業・活動

①オープンキャンパスの実施

受験生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学および各学部学科の魅力をアピールするとともに、入試や就学に関する様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程並びに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

②学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校内で実施される模擬授業並びに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

③学外での説明会参加

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

3) 入試問題検討会

大学または各学部学科のアドミッションポリシーに則った①入試問題の出題方針の決定、並びに②方針通りに入試問題が作成されたことの確認を目的としている。

(a) 検討会開催

外部作問者が主に首都圏に在住であり、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、今年度も対面で会議は開催しなかった。

(b) 事業・活動

①作題案の確認と修正

学内委員と作問者がオンラインで打ち合わせ等を行った上で作成された問題について意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正し、各担当教員の了承を得て、最終作題案が決定された。

②最終作題案のチェック

原案をもとに、事務局および科目担当教員と学外作問者間で、内容が適切であるかどうか、誤りがなにか等詳細にチェックを行った。

(2) アドミッション・オフィス運営委員会

1) 委員会開催

第1回 4月11日(月)大会議室

- ①2023年度入学者選抜(総合型選抜区分)における各学部学科の選抜方法について確認した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、総合型選抜の1次選抜で採用している模擬授業および確認テスト(短期大学部を除く)の実施については、今年度も感染症の状況によっては非接触型の代替試験とする可能性があるため代替試験内容を再度確認し情報共有を行った。また同時に、2023年度入学者選抜における各学科の総合型選抜の変更点について確認を行った。

〈総合経営学部〉

昨年同様で変更がないことを確認した。総合型選抜(指定競技)の志望者には、受験に向けての準備やアドミッション・ポリシーの理解を事前に面談で行うことを徹底していく。

〈人間健康学部〉

・健康栄養学科

昨年同様で変更がないことを確認した。ただし、一次選抜(模擬授業)の日程が昨年度より1週間後ろ倒しとなったため、それを考慮した二次選考の提出課題を検討する。

・スポーツ健康学科

総合型選抜(運動)の選抜区分を廃止する。また総合型選抜(指定競技)に「冬季スポーツ」「自転車」の2種目を追加する。出願条件は、全国大会またはそれに準ずるレベルの競技実績があり、競技実績、入学後の活動環境等について該当する部活の部長と面談し確認した上で、人間健康学部長より推薦を得ることとする。

〈教育学部〉

総合型選抜(地域)の選抜区分を廃止する。新たに総合型選抜(指定競技)を追加する。

〈松商短期大学部〉

総合型選抜Ⅲ期、社会人総合型選抜Ⅲ期の選抜区分を廃止する。

- ②2020年度および2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、総合型選抜の出願者には「オープンキャンパスで実施する受験予定学科の総合型選抜説明会への参加」を出願条件としていなかったが、総合型選抜の趣旨やアドミッション・ポリシーを理解できていない受験生が多くみられることから、2022年度より「総合型選抜説明会参加」を出願条件として復活させる。受験生や各高校には、ダイレクトメールやホームページへの掲載、高校訪問などで周知を行い、感染拡大でオープンキャンパスが中止となった場合は、オンラインで動画配信をするなどの代替案で実施する。

第2回 5月24日(火)大会議室

- ①新型コロナウイルス感染拡大に伴う総合型選抜の実施基準は、昨年同様、松本大学活動制限指針レベル5までであれば計画通り対面式で行うこととし、同指針のレベル6(緊急事態宣言)が発令された場合には代替試験または日程変更で運用することを確認した。
- ②総合型選抜の変更点について各学科の最終確認を行った。教育学部のみ4月教授会で最終決定したため、改めて確認した。

〈教育学部〉

総合型選抜(地域)を廃止し、新たに総合型選抜(指定競技)を追加する。対象種目は、スポーツ健康学科の指定競技と同様とする。

- ③総合型選抜(指定競技)の進め方について再確認した。特に総合型選抜(指定競技)で獲得を希望する選手リストについて提出時期を厳守すること、また指定競技の獲得希望選手リストは、全学入試・広報委員会だけでなく、全学学生委員会との情報共有を行う。
- ④教育学部で取り入れている英語資格・検定試験による加点については、昨年度からの変更がないことを確認した。

2) 事業・活動

- ①新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、各学部学科でアドミッション・ポリシーに沿った総合型選抜を行った。
- ②学科の特色ある総合型選抜として、入試区分設定や試験内容について情報収集、情報共有を行い、数年先を見据えて選抜方法の検討を継続していくことを確認した。

(3) 大学入学共通テスト実施委員会

大学入学共通テスト実施委員会は入試広報部門にカテゴライズされている委員会である。実施責任者(委員長)1名と連絡・調整担当者1名および各学部委員2名ずつ、加えて担当職員から構成されている。主な業務(大学委員会構成における対応すべきテーマ)は、大学入学共通テストの準備と実施等である。

1) 会議及び実施事項

- ①大学入学共通テスト長野県地区連絡会議
6月30日(木)オンラインによる打ち合わせ(於：2号館情報センター会議室)
・地域別試験場別の志願者収容数等について
- ②大学共通テスト中信地域担当者会(於：2号館情報センター会議室)
7月14日(木)オンラインによる打ち合わせ
・各試験場の受け入れ登録パターンや障がい等を持つ志願者受け入れ等について
- ③大学入学共通テスト監督者会議事前打ち合わせ(大学入学共通テスト実施委員会)
12月13日(火)(於：第4会議室)
・委員および関係事務職員打ち合わせ
- ④体調不良を申し出た受験者対応の予行演習
12月19日(月)(於：531教室)
・感染症の現状と教室等の準備および対応について
- ⑤第1回監督者会議
12月21日(水)(於：524教室)
・監督者チーム分けおよび変更点を中心とした説明会
- ⑥第1回リスニング試験予行演習
1月5日(木)(於：524教室)
・リスニング概要説明
- ⑦配慮者対応のリスニング練習
1月10日(火)(於：9号館会議室)
・監督者によるCDプレーヤー操作練習
- ⑧第2回リスニング試験予行演習
1月10日(火)(於：525教室)
・リスニング事故対応練習
- ⑨第2回監督者会議
1月13日(金)(於：524教室)
・監督者に向けた業務内容の詳説
- ⑩試験会場設営準備作業
1月13日(金)
・各試験室の設営と検査
- ⑪大学入学共通テスト業務の実施
1月14(土)・15日(日)
・問題管理、監督業務および答案集約

※日時や場所は記載しないものの、この他問題仕分け業務等があった。

3. 研究推進管理部門

(1) 研究推進委員会

1) 委員会開催

・第1回(メール審議)

4月25日(月)(4月29日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。5月4日(水)委員に対して、あらためて審議結果の報告をした。

[審議事項]

①国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)への研究助成申請について

本研究助成は、採択決定時には本学とAMEDとの間で委託研究開発契約の締結を行うこととなる。そのため申請承認の機関決定が必要となることから審議することとなった。

申請者(研究代表者): 河野 史倫

研究開発領域: 「根本的な老化メカニズムの理解と破綻に伴う疾患機序解明」

タイプ: ソロタイプ(PRIME)

研究開発費: 4000万円以下(間接経費を含まず)

研究開発期間: 最長3.5年(令和4年度~令和7年度)

研究開発テーマ: 骨格筋の加齢変化におけるヒストンバリエーションH3.3増加の意義解明(仮)

概要: マウスを用いてヒストンH3.3またはその変異体を全身の骨格筋に過剰発現させ、加齢に伴う身体機能や筋特性変化への影響を調べる。

審議の結果、異議なく承認された。

・第2回(メール審議)

6月28日(火)(7月4日(月)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。7月4日(月)委員に対して審議結果の報告をした。

[審議事項]

①「松本大学研究活動における不正行為への対応に関する規程」の改正について

文部科学省から出されている「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を遵守する必要があり、昨年度、本学が提出したガイドラインの求める体制整備等の状況に関し、「規程等の整備」に不備が認められたと報告があり、このたび当該不備について改善を行い、「事前整理表」及び「規程の改正案」の提出が求められ、本学の当該規程の内容を確認したところ、チェックリスト全34項目のうち、次の3項目につき現行の規程を改正する必要があることが分かった。

- ・研究データの必要に応じた開示を義務付けることを規程等で定めているか。
- ・不正行為の定義に関して、「故意又は研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる」ものであることを規定しているか。
- ・本調査に当たっては、自機関に属さない外部有識者を半数以上含む調査委員会を設置することを規程等で定めているか。

以上のことから、本規程の改正(案)を審議した。審議の結果、異議なく承認されたため、改正後の本規程は文部科学省へ回答することとなった。

・第3回(メール審議)

6月28日(火)(7月4日(月)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。9月14日(水)委員に対して審議結果の報告をした。

[審議事項]

①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」について

2022年度、上記特別補助について、学内向けの募集案内(案)および申請様式(案)について審議した。審議の結果、異議なく承認されたため、学内での周知を進めることとなった。

・第4回(メール審議)

10月11日(火)(10月14日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。10月17日(月)委員に対して、あらためて審議結果の報告をした。

[審議事項]

①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」への申請について

審議に先立ち私学事業団への申請条件の確認が行われ、応募のあった1件の申請内容について審議がなされた。

i)申請内容審議

申請者：山田一哉教授

共同研究機関：大阪大谷大学薬学部

テーマ：マウス3T3-L1脂肪細胞における各種転写因子遺伝子の発現調整と標的遺伝子の検索

申請書の内容について審議がなされ、異議なく承認された。これにより、本取組みを私学事業団に対する本年度私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることとなった。また、学内においては、申請者に対し、既に承認済の研究助成費について、補助金申請額での再申請手続きを依頼することとなった。

・第5回(メール審議)

10月26日(水)(10月28日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。10月28日(金)委員に対して審議結果の報告をした。

[審議事項]

①個人研究費と研究助成費の2022年度補正予算および2023年度予算申請について

学内研究費(個人研究費ならびに研究助成費)に係る本年度補正予算申請および新年度予算申請に係る日程について、下記のとおり実施したい旨の提案があった。

今後の主なスケジュール

・2023年度予算申請について

通知配付：11月1日(火)・提出締め切り日：11月30日(水)

・研究助成申請書審査・査定：1月13日(金)以降

・研究助成額決定後、申請書再提出締め切り日：2月17日(金)予定

・2022年度執行予定額(調査)について

通知の配付：12月1日(木)・提出締め切り日：12月8日(木)

・教員研究発表会 2月20日(月)・21日(火)開催予定

審議の結果、異議なく承認された。

規程は理事会で承認された後、2023年4月1日から施行となる。

・第6回 12月23日(金)

[審議事項]

①「研究紀要」に掲載の論文の取扱いについて

松田武雄教授から、自身の研究成果を1冊の研究報告書として刊行するにあたり、本学の「松本大学研究紀要」に掲載された自身の論文を若干の加筆修正を加え掲載したいとの申し出があり、その取扱いにつき審議を行った。審議の結果、承認された。

松本大学研究誌規程(著作権)第9条に基づき、本学研究誌に掲載された論文等については、その著作権は本学に帰属するものの、今回は自身の原稿であることから、掲載を容認するものの、その刊行物に出版を明記すること、口頭の申請ではなく今後は書面による申請にすることを条件に認めることとなった。

・第7回(メール審議)

3月5日(日)(3月10日(金)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。3月10日(金)委員に対して審議結果の報告をした。

①2023年度研究助成費について

それぞれの所属長により審査・査定が行われ、まとめられた「学内研究助成審査報告書」に基づき、研

究推進委員長による予算額原案の策定、その後、大学事務局長査定、学長・大学委員長査定を経て、去る3月1日(水)開催の大学委員会へ上程され、承認された査定結果を反映させた研究助成費一覧であると説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。これらの査定結果を受け、申請者には修正申請書の提出を依頼する。

②公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書について

誓約書等については、例年同様、4月3日(月)開催の合同教授会において配付、説明し、提出を依頼したいと説明がなされた。審議の結果、異議なく承認された。

2) 事業・活動

①2023年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知

②第11回松本大学教員研究発表会開催

2月20日(月)・21日(火)の2日間にわたり、第11回松本大学教員研究発表会を開催した。今年度は、31名のエントリーで32演題の発表があった。本年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の流行のため、研究の中止、あるいは縮小を余儀なくされた教員がいたものの、新しく着任された教員の研究発表、また学外の研究助成費による研究発表も見られ、個々の教員相互の研究に対する関心の高さとその研究発表会への盛り上がりを感じられた。

③研究誌編集・発行

i)「地域総合研究第23号 Part1」(編集責任者 尻無浜博幸)、7月31日発行の第1部編集

第1部松本大学地域総合研究センター研究員報告の編集を担当し、論文7編、研究ノート2編の合計9編を掲載した。

ii)「教育総合研究第6号」(編集責任者 山田一哉)、11月30日発行

論文5編、研究ノート3編、教育実践報告2編、資料1編の合計11編を掲載し発行した。

iii)「松本大学研究紀要第21号」(編集責任者 大石文朗)、3月10日発行

論文3編、研究ノート4編、調査・事例報告2編、教育実践報告3編、資料1編、その他1編の合計15編を掲載し発行した。

(2) 地域総合研究センター運営委員会

1) 委員会の構成

運営委員長(センター長)：1名(短期大学部)

運営委員：教員 6名(健康科学研究科兼健康栄養学科、総合経営研究科、総合経営学科、観光ホスピタリティ学科、スポーツ健康学科、学校教育学科より各1名)

事務局 8名

2) 事業・活動

①『地域総合研究第23号』発刊

Part1(2022年7月31日)

Part2(2022年11月30日)

②受託事業窓口業務

以下の新規受託研究を受け入れた。また、4件の受託研究等について継続された。

・官公庁看板商品創出事業「縄文ジビエ事業」への協力、指導

委託先機関：一般社団法人未来投資研究所

担当：大学院健康科学研究科 廣田直子教授

(3) 研究倫理委員会

1) 委員会開催

4月6日(水) メール審議

①下記の2件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「これからの時代に求められる資質・能力を育成するための道徳科学習指導の研究：「自立」に焦点を当てて」
教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師

・「未就学児におけるアライメントが及ぼす影響について」

人間健康学部スポーツ健康学科 伊藤真之助専任講師

4月11日(月) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「長野県児童生徒の食に関する実態調査」
大学院健康科学研究科 廣田直子教授

5月9日(月) メール審議

①下記の3件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「生分解性脂肪族ポリエステル繊維のかゆみ軽減効果の検証」
大学院健康科学研究科 弘田量二教授

・「車いすカーリングの競技力向上に向けたゲーム分析並びにショット率向上についての検討」

人間健康学部スポーツ健康学科 伊藤真之助専任講師

・「男子大学生サッカー選手におけるメディカルチェックの結果とシーズン中のケガの発生率との関係性」

人間健康学部スポーツ健康学科 伊藤真之助専任講師

6月15日(水) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「パフォーマンスに与える月経期別の体調や症状の変化とその程度」

大学院健康科学研究科 弘田量二教授

7月8日(金) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

・「2021年総合経営学科新生入生に対する基礎学力 e-learning システムの学習効果」

大学院総合経営研究科 室谷心教授

8月26日(金) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、承認することを確認した。

・「中・高齢者のフレイル予防に向けた食品選択に対する意識とヘルスリテラシーおよび栄養知識との関係」
大学院健康科学研究科 廣田直子教授

10月11日(火) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「急増する閉経前乳がん発症を背景として女子大学生における食習慣とエストロゲン過剰分泌の関連性の検討」
大学院健康科学研究科 青木雄次教授

11月7日(月) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、再検討を求めることを確認した。

・「アレルギー患者へのいじめに関するアンケート調査」

人間健康学部健康栄養学科 沖島直子専任講師

1月11日(水) メール審議

①下記の2件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「高校生における学習動機づけの社会的伝達モデルに関する研究：友人関係に着目して」

教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師

・「過食、食生活改善のためのインチュイティブ・イーティング基礎調査」

大学院健康科学研究科 弘田量二教授

2月16日(木) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

- ・「異なる部位の一過性中強度レジスタンス運動が健常成人の呼吸循環機能に及ぼす影響」

人間健康学部スポーツ健康学科 山本薫准教授

3月13日(月) メール審議

①下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

- ・「グローバルケアチェーンにおける看取り—イタリアの外国人ケア労働者を事例として—」

大学院健康科学研究科 福島智子教授

②従来の研究計画書において参照すべき倫理指針に示されていた2つの倫理指針が統合され、新たに「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」とされたことに付随していくつかの変更を加え、2023年度から使用することとした。

2) 動物実験部会

i) 部会開催

3月15日(水) メール審議

①下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ・「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
- ・「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
- ・「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授
- ・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

②教員向けの教育訓練を次年度初めに実施することとした。

③動物実験に関する外部検証に向けてワーキンググループを設置することとした。

ii) 事業・活動

4月19日(火)

- ・大学院生、スポーツ健康学科学生を対象に教育訓練を実施した。

5月25日(水)

- ・動物慰霊祭を開催した。

9月27日(火)

- ・健康栄養学科学生を対象に教育訓練を実施した。

3) 遺伝子組換え実験安全管理部会

i) 部会開催

3月15日(水) メール会議

①下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ・「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
- ・「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授
- ・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
- ・「酵母の形質転換」 大学院健康科学研究科 高木勝広教授

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

4) バイオセーフティ部会

本部会は、研究推進管理部門の研究倫理委員会に属する部会である。教育や研究で取り扱う微生物や人体試料の安全な取扱いと管理を目的に、2021年12月に施行された「松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程」の第4条に基づいて設置された。

i) 構成

2022年度の部会は、増尾研究推進委員長、川島地域総合研究センター運営委員長兼研究倫理委員長、青木健康安全センター運営委員長で組織した。安全管理主任者を部会長とし、2021年10月27日に開催された研究推進委員会報告にあるように、学長から任命された健康科学研究科の木藤教授が職務を継続した。2022年度の申請については、安全管理主任者が責任をもって対応した。

ii) 申請件数

2022年度は、人間健康学部健康栄養学科の教員から9件の申請があり、そのうち微生物の使用に関する申請が4件(学生実習1件、研究3件)あり、使用する微生物は、黄色ブドウ球菌(エンテロトキシン産生株)、酵母、乳酸菌、一般細菌、皮膚由来常在菌であった。また、人体試料については5件(学生実習4件、研究1件)の申請があり、使用する人体試料は血液(3件)、尿、唾液であった。全ての申請について、微生物や人体試料の取扱い経験が豊富な教員が実験管理者となっていることが確認できたため承認された。

iii) 今後の活動

2021年7月28日開催の研究推進委員会で提案・承認され整備された「松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程」に基づき2021年度半ばに設置された本部会であるが、2021年度後期に受理した申請は8件で、人間健康学部健康栄養学科6件、スポーツ健康学科2件であった。2022年度は上記にあるように健康栄養学科からのみの申請であったが、講義・実習内容等の変更がない限りスポーツ健康学科からの申請があると考えられる。本部会設置に係る規程が施行されてからの日も浅いことから、スポーツ健康学科に限らず、短大部も含めた他学部教員への周知と、規程内容の理解を徹底させることが必要である。感染源としての可能性は低いが、微生物に汚染された水系試料や、唾液・尿等の人体試料は気づかれずに使用されている可能性も否定できない。

(4) 地域防災科学研究所運営会議

今年度の主な活動は以下のとおりである。

①防災教育拡充へのサポート

総合経営学部観光ホスピタリティ学科地域防災コースに配置されてきた防災関連科目が5科目から8科目へ改編・拡充された初年度にあたり、観光ホスピタリティ学科対応のクラスと他学科対応クラスの2クラスを編成した。

観光ホスピタリティ学科の履修者は約50名、他学科の履修者は約20名で、適正なクラス規模で運営することができた。

②地域防災の体制づくり

島内・新村の両地区での防災地域づくりに注力した。島内地区の防災体制づくりに関しては、実際の安否確認訓練等を実施した。島高松での安否確認訓練等について、2023年3月上旬に本学で開催された松本大学健康首都会議の際に、島高松町会長が訓練の内容やその成果を報告した。

また、本学が位置する新村地区において、地区の町会連合会長や防災担当者による“新村地区防災計画”の策定をサポートした。当該防災計画は、「災害対策基本法第四十二条の二」に規定された地区防災計画として松本市地域防災計画に定めるよう、松本市防災会議へ提案した。

両地区の防災体制づくりに関して、地区の会議に本研究所の所員が参加して作業を進め、本年度は両地区合計20回の会議参加、および3回の防災講演を実施した。

③長野県地域防災推進協議会の運営

長野県の防災士を中心とした組織である長野県地域防災推進協議会(2019年発足)の事務局として、協議会の役員会と連携して防災士の能力向上および、会員による地域貢献活動をサポートするための活動を行った。

・役員会 4月14日(木)・10月4日(火)〈いずれもオンライン開催〉

- ・総会 4月30日(土)〈オンライン開催〉
- ・研修会(総会に併せて研修会を実施)
演題：「“自助＋共助”は無量大」への挑戦～令和新時代の防災士の役割を考える～
講師：橋本 茂氏(特定非営利活動法人 日本防災士機構 理事・事務総長)
- ・ミニ研修会 11月10日(木)〈オンライン開催〉
テーマ：「災害時の食支援」
講師：水野尚子(松本大学人間健康学部健康栄養学科助手・管理栄養士)
- ・講師派遣 11件

④防災士養成研修講座の実施

下記3回の「防災士養成研修講座」を実施した。講座内容(カリキュラム)はP.164～166に記載の通りである。講座終了後に防災士資格取得試験を行い、防災士科目を受講の本学学生も受験した。

- ・第1回 5月21日(土)・22日(日)
受講者数 113名
資格取得者数 一般103名・学生1名
- ・第2回 8月27日(土)・28日(日)
受講者数 85名
資格取得者数 一般86名(内8名は再受験者)・学生4名
- ・第3回 3月18日(土)・19日(日)
受講者数 94名
資格取得者数 一般92名(内5名は再受験者)・学生8名

⑤松本大学BCP(事業継続計画：Business Continuity Plan)の策定

災害時にも活動を継続するための“松本大学BCP”(仮称)の策定を精力的に進め、地震編・水害編については概ね原案が完成したが、感染症編の策定については原案完成には至らなかった。

4. 地域連携部門

(1) 地域連携委員会

1) 委員会開催

①地域連携委員会会議

第1回 4月29日(金)13:30~14:20

[審議事項]

- ・2022年度地域連携活動について

[報告事項]

- ・各委員会報告

第2回 6月15日(水) メール審議

[審議依頼]

- ・地域活動実施計画書の取扱いについて

第3回 10月31日(月) メール審議

[審議依頼]

- ・2023年度地域連携活動経費の申請について

②地域連携委員会・地域力創造委員会合同会議

第1回 8月8日(月)14:00~14:26

[審議事項]

- ・松大健康首都会議について
- ・今後の進め方について

第2回 10月18日(火)13:30~13:55

[開会・概要説明]

[審議事項]

- ・松大健康首都会議の開催方法について
- ・プログラムについて

第3回 11月18日(金) メール審議

[審議依頼]

- ・「松本大学健康首都会議」の延期について

2) 事業・活動

特になし。

(2) 地域力創造委員会

1) 委員会開催

①地域連携委員会・地域力創造委員会合同会議

第1回 地域連携委員会・地域力創造委員会合同会議 8月8日(月)14:00~14:26

[審議事項]

- ・松本大学健康首都会議について

本件について、菅谷学長及び根本教授より、地域連携委員会と地域力創造委員会で運営すること、12月3日(土)・4日(日)に本学のキャンパスにおいて、市民や企業を対象として開催したいと詳細な説明がされ、審議の結果、異議なく承認された。

〈今後の進め方について〉

根本教授より、全学の取り組みとして開催すること、開催会場、テーマなど補足説明がなされた。プログラムについては、地域力創造委員会を中心に検討を進め、パンフレット、広報、集客、スポンサー、

出展ブースなどの詳細は、次の会議で原案を提示したい旨の報告がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

第2回 地域連携委員会・地域力創造委員会合同会議 10月18日(火)13:30~13:55

[審議事項]

- ・松本大学健康首都会議の開催方法について

高木地域連携委員長より、松本大学健康首都会議の開催方法について、以前、大学COC事業の一環として開催された「まつもとシニアカレッジ」と同様の運営形態となること、本学と(株)市民タイムスならびに長野朝日放送(株)が構成団体となり、「松本大学健康首都会議実行委員会(仮称)」を組織して、実行委員会が運営全般を行う形式で進めたいとの概要説明があり、審議の結果、異議なく承認された。

〈プログラムについて〉

講座スケジュールについて、2日間で全6回の講座となること、また、講師の手配を地域力創造委員会で検討しながら、学内の各学部、各学科、それぞれの分野の先生方を中心に具体的に交渉していくことを確認し、審議の結果、異議なく承認された。

第3回 地域連携委員会・地域力創造委員会合同会議 11月16日(水)(メール審議)

[審議事項]

- ・「第1回松本大学健康首都会議」の延期について

11月14日(月)に長野県独自の「医療非常事態宣言」が発出され、それに伴い本学においても「松本大学活動制限指針」(新型コロナウイルス感染症対応)の活動制限レベルが5に引き上げられたことから、本会議の開催の趣旨・目的を鑑み、また、参加される方々が高齢者中心となることを踏まえ、12月3日(土)・4日(日)の開催を延期することとした。引き続き今後の感染状況等を鑑みた上で、新たな日程を決定し年度内に開催できるよう対応することとした。これらの内容について、メール審議の結果、異議なく承認された。

②地域力創造委員会

第1回 10月31日(月)(メール審議)

[審議事項]

2023年度公開講座経費申請について

本年度同様の内容とし、申請にあたっての留意事項は以下の4点とすることを確認した。

- ・開催経費(予算)の助成は、学部または学科による組織的に取り組む公開講座で、本学が主催する公開講座として相応しい内容のものを対象とし、個人的なものは対象外とする。
- ・通常講義の中で学生を対象としながら、学外者の聴講も可とするものは、その旨明記する。
- ・申請が認められ経費の配分を受けた場合は、年度終了後、定められた期日までに、『自己点検・評価報告書』に掲載する報告書を提出する。
- ・公開講座開催に係る企画・運営等の業務については、申請者の責任で行うこととする。

これらの内容について、メール審議の結果、異議なく承認された。

2) 事業・活動

①公開講座の募集・実施

前年度内に3件の申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、いずれも開催されるに至らなかった。

②松本大学健康首都会議の計画・実施

3月4日(土)・4日(日)の2日間、本学を会場に第1回松本大学健康首都会議(本学主催、市民タイムス・abn長野朝日放送共催)を開催した。地域の住民の方々を中心に延べ1,200名が来場された。

なお、各日の記念講演及び講座(合計27講座)の具体的な内容や参加者数は以下のとおりであった。

○3月4日(土)記念講演・開講講座

記念講演：健康寿命延伸の最終目標：「生きがい創出」への誘い

- 講座1：人と関わり、体を動かして「フレイル」「認知症」を予防しましょう！ 65名
 講座2：自分にやさしく、ひとにやさしく 56名
 講座3：健康寿命延伸に備えた「食事のかたち」とは？ 60名
 講座4：読み書きが苦手ってどういうこと？ 9名
 講座5：高原リゾートでリフレッシュ！いきいき健康になろう 27名
 講座6：【実践講座】贈与の見直し?!知っておきたい相続準備「相続セミナー」 58名
 講座7：糖尿病予防の機能性食品 77名
 講座8：子どもの身体についての理学療法的な立場からの理解 13名
 講座9：スポーツ産業からみるヘルスケアの今後 8名
 講座10：児童・思春期のこころの健康を考える 31名
 講座11：健康寿命延伸に向けた「神奈川県未病改善ツアー、健康栄養学のフレイル予防食品臨床試験」の紹介 13名
 講座12：子どもがスマホ脳にならない「情報」との付き合い方 7名
 講座13：【実践講座】中高齢者を対象とした「フレイル予防のための運動実践」 61名
 講座14：人のこころを少しでも理解するための臨床心理学 60名
 講座15：【実践講座】FPから学ぶ資産の作り方「マネーセミナー」 24名

○3月5日(日)開講講座

- 講座16：「旅」と健康 59名
 講座17：未病を克服して健康寿命延伸を目指す音楽療法 45名
 講座18：地域防災の諸課題 26名
 講座19：松本山雅FC・松本大学男子サッカー部「キッズサッカー教室」 16名
 講座20：「農業」と健康づくり 66名
 講座21：生活習慣病について(高血圧症・糖尿病等) 55名
 講座22：地域防災への取り組み 18名
 講座23：【体験講座】地域健康支援ステーション「健康測定をしてみよう」 10名
 講座24：「色彩」と健康 43名
 講座25：エンディングノートリビングウィル 41名
 講座26：家族を守るために知っておきたい応急手当～擦り傷から心肺蘇生法まで～ 15名
 講座27：【体験講座】地域健康支援ステーション「健康測定をしてみよう」 9名

○ブース出展等(ブース：5号館1Fロビー／弁当販売：9号館1F、飲食は9号館食堂)

- ブース出展：株式会社アコーズ／活動量計の展示・商品説明
 大塚製薬株式会社／商品(飲料)サンプリング
 弁当販売：エア・ウォーター株式会社／手作り健康弁当・飲料等の販売

また、来場者アンケートの結果から、受講者の平均年齢は66.6歳、来場エリアは松本市約70%、安曇野市(17%)、塩尻市(7.6%)の順であった。来場された動機については「市民タイムスを見て」が圧倒的に多かった(81.4%)。

(3) 地域健康支援ステーション運営委員会

管理栄養士と健康指導士を専任スタッフとして配置し、地域住民や企業・自治体等からの要望に応じて栄養指導、運動指導や体力測定などの栄養と運動の両面からアプローチする健康づくりの支援活動を行っている。

1) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名(スポーツ健康学科)、委員6名(スポーツ健康学科、総合経営学科・観光ホスピタ

リテイ学科・学校教育学科、商学科から各1名)、事務局7名

②運営委員会：4回 4月19日、12月19日(メール審議)、1月16日(メール審議)、1月23日(メール審議)

2) 地域貢献活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士、運動指導士)が実施した活動。

①林業作業士(フォレストワーカー)1年目集合研修 栄養講座

7月5日・8日

(依頼元：長野県林業労働財団、対象者61名)

②トレーニングマシンを使用した健康運動教室

4月8日・15日・22日・29日、5月13日・20日・27日、6月3日・10日・17日・24日、7月1日・8日・15日・22日・29日、8月5日・19日・26日、9月2日・9日・16日・30日、10月7日・14日・21日・28日、11月11日・18日・25日、12月2日・9日・16日・23日、1月6日・13日・20日・27日、2月3日・17日、3月3日・10日・17日・24日・31日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ357名)

③健康サポート教室

4月6日・20日・27日、5月11日・18日・25日、6月1日・15日・22日、7月6日・20日・27日、8月3日・17日・24日、9月7日・21日・28日、10月19日・26日、11月2日・9日、12月7日・14日・21日、1月11日・18日、2月1日・15日・22日、3月1日・15日・22日

(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、参加者延べ151名)

④健康活動(健カツ)動機づけ講座

6月26日、9月11日、11月27日、2月12日

(依頼元：山形村下大池公民館体育部、参加者延べ77名)

⑤成長期における選手のケア講座(オンライン講座)

12月10日

(依頼元：松本市寿スポーツ協会)

⑥ウォーキング講座

10月2日

(依頼元：塩尻市野村公民館、参加者延べ20名)

3) 松大ヘルスプロモーション事業活動

①安曇野市介護予防事業ステップアップ教室

5月10日・24日・31日、6月7日・14日・28日、7月5日・12日・19日・26日、8月9日

(依頼元：安曇野市高齢者介護課、参加者延べ150名)

②安曇野市一般介護予防 フィットネスバイク教室

9月27日、10月4日・11日・18日・25日、11月1日・8日、12月13日

(依頼元：安曇野市福祉部高齢者介護課、参加者延べ140名)

③安曇野市サイクリングコースカロリー等計算

4月21日～7月31日

(依頼元：安曇野市スポーツ推進課)

④「松本市体力健診事業 からだチェック」の体力測定・運動指導

7月27日、8月31日、9月10日・21日・29日、10月20日・26日・29日、11月5日・17日・18日・22日・30日、12月3日・10日・22日・23日・24日・26日、1月13日・14日・25日

(依頼元：松本市健康づくり課、参加者延べ323名)

⑤「原村 TAGFITNESS」の体力測定、運動講座、栄養講座

7月6日・7日・14日、10月6日・13日・27日・28日、11月10日・24日、12月8日、1月18日、2月6日・20日、

- 3月15日・16日
(依頼元：原村役場保健福祉課医療給付係 参加者延べ112名)
- ⑥「原村春夏秋冬チャレンジプロジェクト」の運動講座
5月28日、10月19日、2月4日
(依頼元：原村保健福祉課健康づくり係 参加者延べ60名)
- ⑦「企業2社」への体力測定
5月11日・12日・16日・18日・19日・23日・25日・26日・28日、10月3日・5日・7日・12日・14日・17日・24日・27日
(依頼元：企業2社、対象者延べ360名)
- ⑧「松本市立病院人間ドックオプションサービス・アクティブドック」体力測定、運動指導
4月14日、6月16日・23日、7月27日、8月18日・24日、9月14日・15日・22日・29日、10月6日・13日・19日・20日、11月24日、12月7日・14日・21日・22日、2月2日・9日、3月1日
(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、対象者延べ23名)
- ⑨「出張型特定保健指導 デモンストレーション」の実施
9月20日
(依頼元：池の平ホテル&リゾート(E/U：愛知県医療健康保険組合) 対象者21名)
- ⑩「出張型体力測定」の実施
11月16日、12月19日
(依頼元：池の平ホテル&リゾート(E/U：(株)大同ライフサービス、木曾駒高原観光開発(株) 対象者34名)
- ⑪太陽工業株式会社 TAGFITNESS
7月25日・28日、9月22日・26日、11月9日・11日、3月7日・9日
(依頼元：太陽工業(株) 参加者：79名)

4) その他

- ①「自宅でできる健康づくり」動画配信
- ②「松本商工会議所女性部健康教室」実施
- ③「松大健康首都会議」体験講座実施
- ④販促活動

5) 広報活動

- ①「蒼穹」第148、149号への原稿執筆
- ②「SPOCOLOR(スポカラ)」11月号(No.102)への掲載

(4) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

1) 考房『ゆめ』利用促進事業

- ①講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介
4月13日(水)、15日(金)、5月11日(水)「基礎ゼミナール(人間健康学部)」
4月19日(火)、26日(火)「基礎ゼミナール(総合経営学部)、(松商短期大学部)」
4月20日(水)「基礎ゼミナール(松商短期大学部)」
6月8日(水)「松本大学と地域(教育学部)」
- ②学生企画による「ゆめ説明会」、「ゆめカフェ」開催
5月10日(火)～12日(木)・23日(月)・30日(月)、6月2日(木)・3日(金)
- ③Twitter、Instagram、YouTube
ONE TEAMプロジェクトや学生プロジェクト等、活動の様子を各種SNSにて情報発信
- ④2022年度地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
7件	3件	4人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

2) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

①学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(7プロジェクト…具体的内容は後述の「3)考房『ゆめ』自主事業②地域づくり学生チャレンジ奨励制度」を参照のこと)

②地域とのパートナーシップ事業(4プロジェクト)

4月～：すすはなプロジェクト

花火大会開催地区の歴史調査及び地域行事への参加、花火大会での企画立案と実行、広報活動への参画、Twitter及びInstagramの運用 [連携先：すすき川花火大会実行委員会]

4月～：松本BBS会

少年院の少年との交流、更生保護研修、更生支援活動への参画

[連携先：社会人会員、保護司会等]

4月～：松本大学サタ・プロジェクト・まつもと

クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動への参画

[連携先：市民団体サタ・プロジェクト・まつもと]

4月～：茶房「ひといき」

新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンの共同運営

[連携先：新村地区住民等]

3) 考房『ゆめ』自主事業

①ONE TEAMプロジェクト

「地域を知る」ことを目的とし、5月～2月にかけて6回実施

- ・第1回「地域ビジネスに活かす農業」5月21日(土)

協力者：田中浩二さん(株かまくらや)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：15名(学生10名、教職員5名)

- ・第2回「野麦街道をたどる旅」6月18日(土)

協力者：小林新蔵さん(株ふるさと奈川)

勝山裕康さん(奈川地区町会連合会長)

新村地区地域住民

参加者：19名(学生13名、教職員6名)

- ・第3回「地元野菜の魅力と人の繋がり」7月16日(土)

協力者：梶原啓さん、梶原知子さん(四賀梶原農園)

田中まゆみさん(sabouしが)

参加者：11名(学生7名、教職員4名)

- ・第4回「いのちと平和を考える」9月18日(日)、展示会 9月16日(金)～18日(日)

協力者：松本市上土商店街振興組合

永高英雄さん(上土劇場支配人)

志田一穂さん(映画音楽DJ)

上智大学同窓会有志

日本ホスピタル・クラウン協会

参加者：15名(学生11名、教職員5名)

- ・第5回「無言館で学ぶいのちの価値」11月5日(土)

協力者：戦没画学生慰霊美術館無言館

新村地区地域住民

参加者：14名(学生9名、教職員5名)

- ・第6回「四賀のおこわを囲む憩いのサロン」2月24日

協力者：松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：14名(学生10名、職員4名)

②地域づくり学生チャレンジ奨励制度

前期審査会：5月9日(月)

応募プロジェクト：7 認定プロジェクト：7

- ①ええじゃん栄村(100,000円)

栄村の地域活性化へ協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。

- ②◎いただきます!!(82,000円)

食を通じて地域住民および子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。

- ③あるぷすタウン(100,000円)

子どもたちが社会の仕組みを学び、地元地域に興味をもってもらう機会を作る。

- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(23,000円)

クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る。

- ⑤茶房「ひといき」(100,000円)

新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンを、地域住民と共同運営する。

- ⑥すすはなプロジェクト(70,000円)

すすき川周辺地域の歴史を学び、花火大会の運営に企画立案する。

- ⑦Sign(35,000円)

障がいについて理解を深める。

報告会：3月8日(水)

- ①ええじゃん栄村(交付奨励金額100,000円 決算額78,086円)

・栄村小滝地区を訪問し、震災から復興までの軌跡を学んだ他、地域住民の方々との交流を通して、地域づくりについての学びを深めた。

- ②◎いただきます!!(交付奨励金額82,000円 決算額6,260円)

・くれき野野菜クラブとの交流や、特産品を使用したレシピを試作した。

- ③あるぷすタウン(交付奨励金額100,000円 決算額1,000円)

・出張あるぷすタウンを実施し、子どもたちが職業を知る機会をつくった。

- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(交付奨励金額23,000円 決算額7,443円)

・サンタ・プロジェクトの歴史を学び、サンタサミットを主催した。

・本の購入者(市民サンタ)へ贈るサンタクロース認定証のデザインを考案した。

・本を届ける際に使用する贈呈箱を手作りし、本と併せて寄贈した。

- ⑤茶房「ひといき」(交付奨励金額100,000円 決算額32,810円)

・地域住民と学生が共同運営する居場所としてのサロンを共同運営した。

・ONE TEAMプロジェクトとの合同企画としてバスハイクを実施した。

- ⑥すすはなプロジェクト(交付奨励金額70,000円 決算額19,773円)

・筑摩地域の歴史を学び、花火大会の経緯や位置づけを学んだ。

・すすき川花火大会の運営企画及び広報活動、スクリーンショットコンテストを実施した。

- ⑦Sign(交付奨励金額35,000円 決算額2,800円)

・手話学習会を通し、聴覚障がいについての学びを深めた。

・学内バリアフリー調査を実施し、大学への提言をまとめた。

4) センター組織の整備充実

①各種会議開催

- ・運営委員会：年3回(内1回はメール審議)
- ・リーダー会議：年20回

②広報関係

〈大学の発行物〉

- ・発行物／ゆめ通信(第50号・第51号)、地域づくり考房『ゆめ』2022年度活動報告書、Volere! Vol.10(学生プロジェクト「ゆめ」編集)
- ・学内発行物／蒼穹(第147号～第150号)
- ・ウェブサイト・SNS／ゆめHP、Twitter、Instagram、YouTubeによる情報発信

〈メディア関係〉

・新聞

信濃毎日新聞	8月28日(日)	松本大学サント・プロジェクト・まつもと
MGプレス	8月4日(木)	すすはなプロジェクト
市民タイムス	8月28日(日)	松本大学サント・プロジェクト・まつもと
	9月18日(日)	ONE TEAMプロジェクト
	10月19日(水)	◎いただきます!!
	2月23日(木)	キッズホッケー

中日新聞 9月19日(月) ONE TEAMプロジェクト

月刊イクジィ 4月号～2022年3月号

こどもあそび隊・キッズスポーツスクールによる「おうち遊び」の紹介記事他

(5) 高大連携推進委員会

1) 委員会運営

委員会の構成は、総合経営、人間健康、教育の3学部および松商短大から7名の教員が委員となり、地域連携課に事務局を置き運営された。高大連携の目的は、「本学と高等学校等の連携を図り、教育の接続による教育効果を高めること」としている。取り組みは学部・学科毎に方法が異なり、また、意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図った。

2) 活動内容

昨年度に引き続き、蔓延する新型コロナウイルスの感染症感染防止の観点から、一部活動については休止あるいは中止を余儀なくされ、また実施された多くの活動においても規模縮小あるいはオンラインで行われた。

①総合経営学部

総合経営学部では、今年度以下の通りの取り組みを行った。

i) デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回本学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。今年度は、コロナ禍での本学の活動レベルに添う形で、オンラインあるいは対面で実施され、内容は以下の通りである。第10期は令和3年度12月より開始されており、今年度はその第4回より実施された。

〈第10期 デパートサミット事業実施内容〉

第1回から3回は2021年度に実施。

- ・ 第4回(松本大学)4月23日(土)
「消費者行動とデザイン」(金子能呼教授)
「リーダー研修Ⅱ」〈リーダーとして行動できたか!〉(畑井治文教授・向井健准教授)
 - ・ 第5回(松本大学)5月21日(土)
「広報活動と表現」〈パンフ作成過程等〉(岡田義彦氏他)
「リーダー研修Ⅲ」〈企画力・行動力〉(畑井治文教授・向井健准教授)・しんきんビジネスフェア(5月11日)へのマーケティング塾生参加
 - ・ 第6回(松本大学)6月4日(土)
講習会「販売員マナー」(井上百貨店人事部)
 - ・ 第7回(松本大学)7月16日(土)
開発商品発表会(商品撮影)・開発商品試食会・広報活動(松本市内)
 - ・ 第8回(松本大学)8月11日(木)
講習会「金銭授受とPOP」(井上百貨店人事部)
 - ・ 第9回全国高校生合同販売会「デパートゆにっと」(井上百貨店)8月18日(木)～21日(日)
 - ・ 第9回(松本大学)10月8日(土)
マーケティング塾総括と「デパートゆにっと」総括・マーケティング塾修了式
- (第11期 デパートサミット事業実施内容)

- ・ 第1回(松本大学)12月24日(土)
アイスブレイク「仲間づくり」・講演「マーケティング塾先輩からの話を聞く会」〈パネルディスカッション～活動目標～(松商短期大学部 降旗千晶さん他)〉・講義「マーケティング塾でどのような学びができるか」(オンラインミーティング)
- ・ 1月13日(金)
マーケティング塾高大連携打合せ(バレンタインスイーツについて)
- ・ 第2回(松本大学・アイシティ21)1月28日(土)
アイスブレイク「高校の枠を超えた仲間づくり」、発表「バレンタインスイーツに向けた商品情報の共有」、アイシティ21現場視察、報道向け商品発表会(アイシティ21)
- ・ 2月4日(土)・5日(日)
「バレンタインスイーツ～バレンタインまで待てない～」(アイシティ21)
- ・ 第3回(松本大学)3月18日(土)
講義「地域資源を生かした商品とブランドづくり」(山根宏文教授)、講演「メタバースについて」(博報堂 川島英憲氏)、リーダー研修「地域の大学・高校と企業の連携を考える」(畑井治文教授・向井健准教授)、グループ討議「デパートユニットに向けてのコンセプト」

ii)地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校が開始した地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、2012年度に飯田長姫高校(当時)、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

「地域人教育」は、1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に最大限配慮しつつ、松本市街地におけるフィールドワークを実施した。昨年度、フィールドワークを実施できなかったことから、商業科1年生および2

年生の2学年を対象として、5月31日、6月1日の2回に分けて、155名の生徒が参加して実施した。また、飯田OIDE長姫高校で実施された地域人教育授業ガイダンスやフィールドワークの事前学習会などで本学教員が講師を務めたほか、地域人教育成果発表会において講評を述べたり、地域人教育推進委員会へ本学担当教員が出席した。

iii)地域づくり考房『ゆめ』による高大連携教育

高大連携協定に基づき地域づくり考房『ゆめ』と長野県商業教育研究会が共同で主催し、高大連携教育研修会を11月8日(火)に、本学第3会議室において「MG(マネージメントゲーム)を活用した高大連携教育」をテーマに実施した。外部講師として経営総合研究所代表取締役の明賀義輝氏および南安曇農業高校の小池晃教諭を招き、高校の教員13名が参加した。

②人間健康学部

i)スポーツ健康学科

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、翌年6月には試行的に、高校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定が締結され、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は14年目の活動となった。具体的には、年2回同校1・2年生徒が本学を訪れ、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」や「生活」について理解する「大学授業チャレンジ型連携」と、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験する「教員実務参加型プログラム」がある。

今年度は、コロナ禍の影響から、「チャレンジ型」については9月に予定していたものを2月に移動して下記の通り実施した。また「教員実務参加型」については中止となった。なお、1月25日(水)に「令和4年度長野県岡谷東高校学習成果発表会」が岡谷市カノラホールの大ホールにて開催された。第一部の高大連携事業成果発表において、3年健康スポーツコース生徒による本学との連携事業後の健康スポーツコースの取り組みに関する成果発表が行われ、ここに委員長が出席し講評を行った。

また、辰野高校普通科において、令和4年度入学生からスポーツ探求コース導入に伴い、本学より岩間教授、新井准教授、斉藤准教授の3名の教員が授業に赴くことが計画、実施されたが、コロナ禍の影響により斉藤准教授の授業は中止となった。

なお、2022年度 岡谷東高校高大連携授業内容は下記の通りである。

・7/1(金)

1年生対象／「高校生に必要な身体づくりとは」(田邊愛子准教授)、「運動スキル(技術)の習得過程～人はどうやって上達するのか～」(岩間英明教授)

2年生対象／「ジェンダーとスポーツ法」(新井喜代加准教授)、「良い姿勢ってどんなもの？」(伊藤真之助専任講師・学生補助9名)

・2月6日(月)

1年生対象／「スポーツと気象～天気予測と雷から身を守る～」(丸山文男教授)、「コミュニケーションとチームビルディングゲーム」(中島弘毅教授)

2年生対象／「科学的トレーニング」(山本薫准教授・補助学生あり)、「スポーツビジネス入門～スポーツの新しい見方～」(本間崇教専任講師)

実際の授業時間は、75分であった。1年生は26名、2年生は27名であった。授業終了後、9号館学食にて昼食をとった。

ii)健康栄養学科

2010年度から地域健康支援ステーションにおいて石澤美代子助手が県内の高校野球部(松本深志高校、諏訪清陵高校、他7校)を対象に実施してきた年間栄養サポートの取り組みを2021年度から高大連携事業として木曾青峰高校および田川高校の野球部を対象に実施している。2022年度の活動内容は以下の通りであった。

・木曾青峰高校：4月24日「身体計測・集団講座」、5月8日「集団栄養講座」、8月1日「3年生引退講座」、12

- 月18日「新チーム栄養講座・補食提案・身体計測」、3月13日「補食提案・身体計測」
・田川高校：6月4日「体重計測・集団講座・食事体験講座」、3月23日「補食提案講座」

また、両校に対して行った補食の提案についての内容や様子を、本学公式ホームページに寄稿し、活動を周知した。

③松商短期大学部

i) 大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉強意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は8月17日(水)から19日(金)の3日間、3月20日(月)、22日(水)、23日(木)の3日間、新型コロナウイルスの影響でいずれもオンラインでの実施となった。穂高商業高校2年生約60名が参加した。講義の内容についてはP.200~201掲載のとおり。

ii) 高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商簿記検定2級レベルに達している3年生徒を対象として、本学教員2名が同校に週1回出向いて日商簿記検定1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。

今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

5. 学生センター部門

A：教育活動支援

(1) 全学教務委員会（構成員：委員8名／事務局：20名）

各学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営に力を注ぎつつ、教学を巡る学内外の動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題を把握し対応に努めること、および各種報告事項についても適宜取り扱い、情報の全学的共有を図るべく努めている。

今年度(2022年度)もまた、日常的な教務関連事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべく努めてきた。なお、今年度からは、本学の新型コロナウイルス感染症への対応の指針である「松本大学活動制限指針の活動制限レベル」を遵守しながらも、通常通りの授業運営に近づけるべく検討、対応を重ねた。また、今年度は、認証評価を受審する年であったため、提出資料の作成、事前質問への回答、面談への準備など、年間を通じて、その対応に多くの時間が割かれた。

以下、「1)今年度実施した事業・活動」として、①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定、②認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応、③テーマ別教学関連事項、④その他日常業務の4点に整理して、今年度の事業・活動状況の概略について記述する。また「2)委員会開催」として、年間を通して開催された各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を挙げておく。

1) 今年度実施した事業・活動

①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定

(新型コロナウイルス感染症関連)

- ・「松本大学活動制限指針の活動制限レベル」に応じた形で、教学的課題について検討、決定した。具体的には、授業形態(原則全ての講義を対面形式のみで開始)、履修申請のスケジュール、座席指定のあり方、オンライン授業(Teams)の展開、定期試験の実施方法などである。
- ・オンライン授業(Teams)での聴講申請があったケースへの対応について検討、決定した。
- ・2023年度前期の授業形態、履修申請のスケジュールなどを検討し、その方向性を決定した。

(上記以外)

- ・履修登録に係る抽選方法、閉講の判断時期などを見直し、一部運用ルールの変更を行った。
- ・追試験を実施する科目の範囲を再確認し、全学的に運用ルールの統一化を図った。
- ・オンライン英語学習サイトの取り扱いについて検討し、今後の方向性を決定した。
- ・各科目の講義種別を再確認し、実態に即した形になるようカリキュラムの整備を進めた。
- ・第一体育館の耐震工事期間について影響を受ける科目担当教員への対応依頼を行った。
- ・資格取得奨励金(TOIECなど)について見直しを進めた。

②認証評価および私立大学等改革総合支援事業への対応

- ・認証評価への対応として、「学修成果の点検と評価、および改善とフィードバック」について、各学部にて結果報告をしてもらい、全学的に情報共有を図った。
- ・上記に関連して、入学年度別の卒業率・退学率・留年率、成績データの分析作業を進めた。
- ・認証評価のエビデンスとなる各種データなどについて整理を依頼し、認証評価に備えた。
- ・改革総合支援事業への対応として、学修歴証明のデジタル化、教育リソースの活用などの実現可能性について状況を確認した。

③テーマ別教学関連事項

i) 全学共通教養

- ・新しいカリキュラムの運用状況を確認しながら、今後、検討を重ねていくべき課題を整理した。具

体的には、「英語系科目」の運用方法、「留学生科目」の取り扱いなどである。

ii) キャリア教育

- ・昨年度、正課科目として単位化された「インターンシップ」については、139名の履修者中86名が実際にインターンシップに参加することとなった。

iii) 学部・学科横断型教育(学修)プログラム

- ・今年度は、「公共政策教育プログラム」、「6次産業化マネジメントプログラム」の開始とともに、3つ目のプログラムとして「共生社会実現のための統合プログラム」について内容を検討し、次年度以降の導入を決定した。

iv) 「地域防災科学研究所」設置に伴う防災士科目の配置

- ・全学的に防災士の資格取得が可能となるよう、観光ホスピタリティ学科で開講されている資格関連科目の配置(担当者、時間割など)の調整を行った。
- ・観光ホスピタリティ学科以外の3年生以上で在学中に同資格の取得を希望する者のために、他学部他学科科目の履修上限単位数(年間6単位)を緩和することを臨時措置として決定した。

v) 新・教学システムの導入準備

- ・2023年度からの全面移行を目指して、教務課を中心に具体的な作業を前進させてきた。教員向けの説明会、学生向けのオリエンテーションなど、スケジュールに基づいて作業を進めた。

④ その他日常業務

- ・年間予定表の検討
- ・各種オリエンテーションの企画と実施
- ・プレイスメントテストの実施・分析
- ・欠席調査の実施
- ・期末授業アンケートの実施
- ・成績発表後の成績不振者に対する全学的対応の共有及び指導記録の整理
- ・オフィスアワー実施記録の提出催促と整理
- ・次年度の各学部カリキュラムと時間割の情報共有及び兼任依頼などに関する調整
- ・シラバスの点検
- ・転学部・転学科試験の実施

2) 委員会開催

臨時開催① 4月18日(月)～4月22日(金)メール審議

〔審議事項〕

- ①特定条件下でオンラインで受講を要望する学生について

第1回 4月25日(月)9:40～11:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2022年度の課題
- ②履修者数制限希望申請書
- ③「インターンシップ」の履修抹消
- ④防災士関連科目に係る他学部他学科科目履修上限の緩和

〔報告事項〕

- ①全学共通教養科目の履修状況
- ②学部学科横断型教育(学修)プログラム申請状況
- ③欠席調査
- ④TOEIC対策講座
- ⑤2021年度卒業状況
- ⑥2023年度年間予定表

- ⑦授業目的公衆送信保証金制度(サートラス)報告書の提出
- ⑧オンラインでの聴講申請
- ⑨2022年度前期全学教務委員会開催日程
- ⑩その他

第2回 5月30日(月)9:00~11:00 欠席1名

[審議事項]

- ①防災士関連科目に係る他学部他学科科目履修上限の緩和
- ②履修登録に係る抽選方法の検討および閉講の判断時期
- ③後期授業の開始に向けての検討および後期履修スケジュール
- ④オンライン英語学習サイト
- ⑤人間健康学部特別講師申請
- ⑥2023年度年間予定表

[報告事項]

- ①後期第一体育館耐震工事への対応
- ②全学共通教養科目を担当する定年を迎える教員
- ③前期定期試験アンケート、および実施方法
- ④プレイスメントテスト結果
- ⑤前期履修抹消
- ⑥授業アンケート
- ⑦アウトキャンパス申請書の一部書式変更
- ⑧編転入学生への単位読み替え
- ⑨教務課業務担当
- ⑩履修登録システムの誤設定
- ⑪履修登録人数の多い全学共通教養科目の開講方法の検討

第3回 6月27日(月)9:00~10:30 欠席なし

[審議事項]

- ①履修登録に係る抽選方法の検討および閉講の判断時期
- ②後期授業の開始に向けての検討および後期履修スケジュール
- ③オンライン英語学習サイト
- ④2023年度年間予定表

[報告事項]

- ①後期第一体育館耐震工事への対応
- ②前期試験
- ③後期復学相談
- ④後期オリエンテーション
- ⑤新システムの進捗
- ⑥「国際社会特別講義Ⅰ」、「海外事情Ⅰ・Ⅱ」の実施方法
- ⑦次年度準備

第4回 7月25日(月)9:00~10:50 欠席なし

[審議事項]

- ①履修登録に係る抽選方法の検討および閉講の判断時期
- ②2023年度年間予定表
- ③後期第一体育館耐震工事への対応
- ④その他

[報告事項]

- ①新システム進捗状況
- ②後期授業のレベルに応じた実施方法
- ③オンライン英語学習サイト
- ④感染症対策としての座席指定の活用状況
- ⑤SA等の契約アルバイトへの切替え
- ⑥宿泊を伴う学外活動
- ⑦2023年度兼任依頼
- ⑧英文証明書のための英語科目名設定
- ⑨後期ワクチン接種当日および移動日の授業・試験欠席に対する扱い
- ⑩前期(2学期)期末授業アンケート依頼
- ⑪出欠登録・オフィスアワー実施記録の徹底
- ⑫2023年度カリキュラム編成に係る日程
- ⑬教務課業務担当
- ⑭後期全学教務委員会日程
- ⑮次年度準備
- ⑯その他

臨時開催② 7月26日(火)メール審議

〔審議事項〕

- ①インターンシップ(前期科目)について

第5回 8月29日(月)9:40~11:20 欠席1名

〔審議事項〕

- ①後期履修スケジュール
- ②2023年度兼任依頼

〔報告事項〕

- ①新システム進捗状況
- ②2022年度改革総合支援事業
- ③前期(2学期)期末授業アンケート結果
- ④前期再試験における短大生の共通教養科目の受験
- ⑤次年度準備
- ⑥その他

第6回 9月26日(月)16:50~18:20 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2023年度各学部のカリキュラムおよび時間割検討状況
- ②2023年度兼任依頼
- ③留学生対象科目(学部)の今後の方針

〔報告事項〕

- ①新システム進捗状況
- ②短期大学部2023年度年間予定表
- ③短大生の共通教養科目の再試験の実施
- ④学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ⑤後期履修状況
- ⑥欠席調査
- ⑦教職課程履修者状況
- ⑧次年度準備
- ⑨その他

第7回 10月24日(月)16:50~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2023年度カリキュラム案
- ②2023年度時間割表案
- ③2023年度兼任依頼
- ④留学生対象科目(学部)の今後の方針
- ⑤追試験を実施する科目の範囲
- ⑥各科目の講義種別の確認
- ⑦成績分析結果(IR)
- ⑧英語ワーキンググループの検討結果
- ⑨2023年度転学部・転学科試験要項

〔報告事項〕

- ①新システム進捗状況
- ②シラバス入力説明会
- ③2023年度以降のシラバスレイアウト
- ④学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ⑤英文証明書のための英語科目名設定
- ⑥2022年度後期科目の履修抹消状況
- ⑦後期授業アンケート
- ⑧次年度準備

第8回 11月21日(月)16:50~18:45 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2023年度兼任(兼任)依頼
- ②追試験を実施する科目の範囲
- ③後期定期試験スケジュール
- ④各科目の講義種別の確認
- ⑤英語ワーキンググループの検討結果
- ⑥2023年度松本大学シラバス入稿の手引きおよび入力説明FD
- ⑦履修者数制限希望申請書
- ⑧2023年度資格取得奨励金
- ⑨2023年度教務委員会スケジュール
- ⑩学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ⑪2023年度TOEIC 課外講座

〔報告事項〕

- ①留学生対象科目(学部)の今後の方針
- ②新システム進捗状況
- ③2023年度カリキュラム案
- ④2023年度時間割表案
- ⑤数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
- ⑥新システムへの移行に伴うLMS機能
- ⑦第2回欠席調査
- ⑧2022年度補正予算について
- ⑨次年度準備

第9回 12月19日(月)16:50~18:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①各科目の講義種別の確認
- ②2023年度授業形態および履修関係のスケジュール
- ③2022年度補正予算・2023年度予算

[報告事項]

- ①新システム進捗状況
- ②2023年度カリキュラム
- ③2023年度時間割表案
- ④就職活動に伴う証明書の発行、券売機休止期間
- ⑤試験監督要領
- ⑥復学相談
- ⑦授業アンケート
- ⑧各種オリエンテーション日程
- ⑨次年度準備

第10回 1月23日(月)16:50~18:00 欠席なし

[審議事項]

- ①各科目の講義種別の確認
- ②学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ③前期ワクチン接種当日および移動日の授業・試験欠席に対する扱い
- ④履修者数制限希望申請
- ⑤2023年度資格取得奨励金

[報告事項]

- ①新システム進捗状況
- ②2023年度予算
- ③2023年度時間割表案
- ④2023年度カリキュラムツリー・履修モデル
- ⑤2023年度シラバス入稿および内容の点検
- ⑥成績不振者の全学的な対応および指導記録・OH実施記録
- ⑦適正な出席管理
- ⑧転学部・転学科試験
- ⑨人間健康学部の再試験要件の見直し
- ⑩次年度準備

第11回 2月20日(月)16:50~17:50 欠席2名

[審議事項]

- ①2023年度前期の講義運営
- ②TeamsおよびWeb Classの運用
- ③アウトキャンパス申請書
- ④その他

[報告事項]

- ①新システム進捗状況
- ②2023年度時間割表
- ③適正な出欠管理
- ④新入生・在学生オリエンテーション
- ⑤2022年度に作成したTeamsのチーム削除
- ⑥他学科免許履修支援プログラムの履修許可者
- ⑦専任教員退職に伴う共通教養科目の閉講と今後の運営

- ⑧その他
- ⑨次年度準備

3) 基礎教育センター

基礎教育センターは、専門員4名と事務局員1名が常駐し業務を行っている。その円滑な遂行のために「スタッフ会議」と称する会議を定期的で開催している。同会議には、前述の専門員4名と事務局員1名に、教務課長、管理担当者・実施責任者・各学部学科選出の教員も加わり、合計13名のメンバーでさまざまな検討・調整を行った。

今年度も、専門員による授業補助、各種課題の実施希望および提出・返却方法などについて検討・調整するなど、各学部学科との円滑な連携に努めた。なお、今年度は、特に同センターの利用促進に向けて各学部学科から広く意見を集約することに注力した。

また、同センターが実施している「朝の学習講座」(9時～9時30分)は、これまでと同様、対面とTeamsを利用したオンラインの併用を継続し、前期・後期ともに70回実施した。2022年度は延べ1,327名(学部生995名、短大生332名)が受講票を提出した。前年度と比べて、参加学生が減少傾向にある点が懸念事項となっており、各学部学科より利用を促すためのいくつかのアイデアが提案された。「朝の学習講座」以外の実績としては、各学部学科から依頼のあった授業支援：16回、プリント・テスト作成：5件、課題の作成・回収・返却：春期7・入学前7・夏期7(単位は学科または学年)となっている。以下にスタッフ会議の審議事項・報告事項の項目を記述しておく。

基礎教育センタースタッフ会議

第1回 7月14日(木)

〔審議事項〕

基礎教育センターの利用促進について

〔報告事項〕

- ①朝の学習講座について
- ②今年度の基礎教育センターの関わる授業、告知について
- ③基礎教育センターの課題について
- ④2022年度センターの休日について
- ⑤意見交換

第2回 2月15日(水)

〔審議事項〕

- ①基礎教育センター専門員の学内における非常勤講師と学外業務について(2023年度)
- ②基礎教育センターの活用について
- ③次年度「朝の学習講座」実施方法について

〔報告事項〕

- ①朝の学習講座、センターの利用状況について
- ②今年度の基礎教育センターの関わった授業、課題について
- ③次年度の確認について
- ④次年度の勤務体制について
- ⑤意見交換(在学生の基礎学力の状況等)

(2) 公務員試験対策講座運営委員会 (構成員：教員7名・事務職員5名 合計12名)

本委員会は教員5名(委員長1名、各学部1名、短大部1名)と事務職員5名によって構成されており、公務員を目指す学生を支援することを目的に、(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座(以下、「対策講座」という)を開講し、その円滑な運営が行えるように活動を行った。

今年度も、オンライン授業との併用を積極的に行い、計画どおりに実施した。ただし、受講者数は昨年度と比較して38名(26%)減少しており、その対策審議も含めて2回の委員会を開催し、日常的にも(株)LEC東京リーガルマインド担当者と密なミーティングを行って意思疎通を図り、学生の学力向上と公務員試験合格のために活動を行った。以下、1)委員会開催と、2)事業・活動として本委員会の活動について報告する。

1) 委員会開催

第1回 8月19日(金) 15:10~15:55(オンライン開催)

[報告事項]

- ①2022年度公務員対策講座受験者数について
- ②2022年度公務員採用試験合格者情報について
- ③講座運営について

第2回 12月9日(金) 15:10~16:00

[審議事項]

- ①次年度の講座編成について
- ②宣伝用パンフレットについて

[報告事項]

- ①2022年度公務員試験対策講座受講者数と運営について
- ②公務員採用試験状況について

2) 事業活動

①公務員試験ガイダンス

受講者の募集に関しては、各学部オリエンテーションで可能な限り対面での周知徹底、SPI講座の開講を6月に後ろ倒しして下位学年学生の募集の強化、LECの協力のもと、開講後1週間のお昼休みに受講ガイダンスを開催するなど、学生へのPRについてはLECと連携して最善の対応を行った。

②(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座

表1 2022年度に実施した公務員試験対策講座

講座名	対象学部・学年	コマ数	受講者数
SPI・公務員入門	学部1年	21	26
教養講座〈基礎〉	学部2年・短大1年	45	32
教養講座〈発展〉	学部3年	45	11
専門対策講座	学部3年	45	11
直前対策講座	短大2年	25	1
直前対策講座	学部4年	40	28
合計			109

受講者数に関しては、昨年度と比較すると147名から109名へと38名の減少(約26%減)となった。次年度へ向けて積極的な対策が必要である。

2019年度より講座の一環として位置付けた個人面談や面接対策についても引き続き実施された。今年度の個人面談は延べ131名(2021年度182名、2020年度68名、2019年度228名)、面接対策は延べ95名(2021年度89名、2020年度50名、2019年度60名)の受講者が利用し、ほぼ昨年度と同程度であった。

費用に関しては、受講者数が昨年度よりさらに減少したため、受講料収入が合計で4,244,400円で、当初見込み5,931,000円(2021年度と同じ履修者数で算出)、2021年度実績5,827,000円よりも170万円近く減少した。支出は8,100,400円(当初見込み8,747,200円、2021年度実績8,199,400円)と昨年度実績と同程度であった。当

初見込みと比較すると60万円近く減少しているが、これは個人面接・面談費用が見込み時の予想より減少したことで教材送料の必要がなかったためである。結果として、差額の3,856,000円(当初見込み2,816,200円:2021年度と同じ履修者数での算出、2021年度実績2,372,400円)とかなりの金額が大学の負担となった。

結果として、2022年度卒業生の公務員就職状況は21名(27件)であり、そのうち対策講座の受講者は16名(76.2%)であった。昨年度と比較して若干合格者数は増加している。今年度の合格者の特徴としては、信州大学や富山大学の国立大学法人等職員の合格者がいること、専門科目のある安曇野市役所や長野市役所の合格者が複数いること、採用数の少ない松本広域消防局の合格者がいること、長野県警に9名と多数の合格者がいることがあげられる。

(3) 教職センター運営委員会

1) 委員会開催

①全学

・全学教職センター運営委員会(全10回)

4月27日(水)、6月7日(火)、7月13日(水)、9月30日(金)～10月4日(火)メール審議、10月12日(水)、11月28日(月)～12月1日(木)メール審議、12月5日(月)、12月19日(月)、1月30日(月)、3月20日(月)

・教職課程自己点検評価委員会(全4回)

6月23日(木)、11月7日(月)、12月23日(金)、2月9日(木)

・教職センター連絡会(全1回)

6月22日(水)

②総合経営学部・人間健康学部

・教職センタースタッフ会議(全12回)

4月6日(水)、5月10日(火)、6月7日(火)、7月5日(火)、8月2日(火)、9月6日(火)、10月4日(火)、11月1日(火)、12月6日(火)、1月10日(火)、2月7日(火)、3月7日(火)

・総経・人間教職センター会議(全5回)

6月2日(木)、7月7日(木)、9月21日(水)～28日(水)メール審議、11月28日(月)～29日(火)メール審議、3月13日(月)～17日(金)メール審議

③教育学部

・教育学部教職センター会議(全12回)

4月6日(水)、5月11日(水)、6月8日(水)、7月6日(水)、8月3日(水)、9月7日(水)、10月4日(火)、11月2日(水)、11月30日(水)、12月23日(金)、2月7日(火)、3月7日(火)

・学校ボランティア活動担当者会議(全4回)

4月6日(水)、6月8日(水)、9月26日(月)、2月1日(水)

・学校インターンシップ科目担当者会議(全2回)

5月30日(月)、12月14日(水)

・特別支援教育科目担当者会議(全11回)

4月18日(月)、5月17日(火)、6月14日(火)、7月12日(火)、8月31日(水)、10月18日(火)、11月22日(火)、12月13日(火)、1月17日(火)、2月22日(水)、3月14日(火)

・教育学部次年度カリキュラム打合せ

11月23日(水)

・教採対策WG(全4回)

5月25日(水)、8月31日(水)、11月11日(金)、2月28日(火)

・教務打合せ(全2回)

6月28日(火)、7月1日(金)

・教育実習打合せ

1月26日(木)

2) 教員免許状更新講習

教員免許更新制度改定により、今年度は開講せず。

3) 2023年度公立学校教員採用試験結果

(現役生)

・総合経営学部・人間健康学部

長野県 高等学校(商業) 1名

長野県 小学校 1名

以上 総合経営学部1名、人間健康学部1名 合格

・教育学部

長野県 小学校教諭 10名 新潟県 小学校教諭 7名 石川県 小学校教諭 2名

富山県 小学校教諭 1名 北海道 小学校教諭 4名 山梨県 小学校教諭 2名

長崎県 小学校教諭 1名

長野県 中学校(英語) 2名 長野県 特別支援学校 3名 東京都 特別支援学校 1名

以上 教育学部33名(延べ人数) 合格

4) 教育実践改善賞

①教育実践改善賞(4名)

小林 綾音(長野市立篠ノ井西中学校)

「中学校道徳科 特別支援学級における『自己を見つめること 表現すること』を支援する授業づくり」

中澤 里佳(長野県松本養護学校)

「評価規準の設定による授業の効果に関する実践的研究—PDRサイクルを踏まえた実践による検証—」

宮島 雅子(塩尻市立吉田小学校)

「児童が行う睡眠のセルフモニタリングに関する3年間の実践事例—体調を崩す児童が出ることなく行事が実施できることを目指して—」

望月 誠(長野家政学園 長野女子高等学校)

「地域課題を解決する実践活動を通じた地域連携—長野女子高等学校の地域連携活動を事例に—」

②特別賞(4名)

池田 大二(長野県寿台養護学校)

「能動的作業学習についての一提案～『訓練』から『学習』へ～」

瀧澤 公也(松本市立筑摩野中学校)

「教育課程改善における校長のリードと教職員支援」

小林 将樹(長野県佐久平総合技術高等学校)

「ESDの視点を取り入れた探究学習の実践—地域と連携した探究学習の事例—」

新村 涼一(松本市立筑摩野中学校)

「学習者の興味・関心を高める文法指導～文法と実生活との関わりの手立てとして～」

5) 教員免許状取得数

校種	教科	総経	観光	栄養	スポーツ	学校	大学院	計
小学校					1(※1)	83		84
中学校	社会		3			7(※1)		10
	保健体育				24	1(※1)		25
	保健				2			2
	英語					5		5
高校	公民	1	3					4
	地理歴史		1					1
	情報	4						4
	商業	2						2
	保健体育				24			24
	保健				2			2
	英語					5		5
養護教諭					6		6	
栄養教諭				5			5	
特別支援(知・肢・病)						29	29	
計		7	7	5	59	130		208

※1…二種免

6) 教育実習実施者数

学部	学科	3年人数	4年人数
総合経営	総合経営		5
	観光ホスピタリティ		3
人間健康	健康栄養		5
	スポーツ健康		31
教育	学校教育	80	42
計		80	86

7) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 5月15日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2022年度定期総会、合同研究大会及び2022年度研究部総会、第1回研究部会(オンライン)(山崎)
- 5月28日(土) 第41回全国私立大学教職課程協会研究大会(オンライン)(山崎)
- 6月25日(土) 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会オンライン研修会(川久保・河合)
- 8月3日(水) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2部会・第8部会合同部会：自己点検・評価への取り組み事例(オンライン)(山崎)
- 11月5日(土) 全国私立大学教職課程協会 2022年度教職課程運営に関する研究交流集会(オンライン)(山崎・海沼)
- 1月31日(火) 全国私立大学教職課程協会 緊急シンポジウム『教員採用選考試験の早期化・選考の複線化(複

数回実施を含む)と教職課程』(オンライン)(山崎)

8) 教職センター活動

- 4月7日(木)・4月8日(金) 東京アカデミー 教採模試
- 4月13日(水) 介護等体験ガイダンス①(3年生)
- 4月14日(木) 4年生教育実習ガイダンス
- 4月20日(水) 松本市教育委員会ご挨拶(征矢野・秋田・川久保・秋田)
- 4月21日(木) 長野県義務教育課説明会
- 5月9日(月)～ 2022年度教育実習開始(4年生)
- 6月1日(水) 上越教育大学大学院大学推薦説明会(前期)
- 6月15日(水) 介護等体験ガイダンス②(3年生)
- 6月23日(木)・6月30日(木) 教員採用試験面接対策(4年生)
- 6月27日(月) 1年生教職ガイダンス(総経・観光・栄養)
- 7月2日(土)・7月3日(日) 長野県教員採用試験第一次選考
- 7月3日(日) 日本情報科教育学会 第15回全国大会(大阪学院大学)参加(室谷)
- 7月3日(日) 中部教育学会 第70回大会 参加
「教職センターの充実と教職課程の自己点検評価について」発表(山崎)
- 7月4日(月) 1年生教職ガイダンス(スポーツ)
- 7月14日(木) 教員採用試験第一次選考報告会(4年生)
- 7月16日(土) 日本高校教育学会 令和4年度第29回大会 参加(オンライン)(山崎)
- 7月25日(月) 長野県立高等学校教員採用試験第一次選考合格発表
- 7月26日(火) 長野県小学校、中学校、特別支援学校教員採用試験第一次選考合格発表
- 7月28日(木) 教員採用試験第二次選考対策講座 開催(4年生)
- 8月6日(土) 日本学校教育学会 出席(山崎)
- 8月6日(土)・8月7日(日) 一般社団法人 日本カウンセリング学会 第54回Web大会 参加「カウンセリング心理学の新しい視点」発表(藤江)
- 8月10日(水) 日本物理教育学会 出席(室谷)
- 8月10日(水)～9月10日(土) 日本教育心理学会 第64回(2022年)総会(オンライン開催)参加「困難を抱えた子供の支援」発表(藤江)
- 8月20日(土)・8月21日(日) 日本教育情報学会 出席(オンライン)(室谷)
- 8月30日(火) 特別支援学校における介護等体験開始
- 8月30日(火) 上越教育大学大学院大学推薦説明会(中期、後期)(オンライン)
- 9月8日(木) 令和4年度教職課程認定基準等の改正に関する事務担当者説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
- 9月9日(金) 日本養護教諭養成大学協議会 2022年度養成教育セミナー 参加(オンライン)(中島節)
- 9月14日(水)・9月15日(木) 1～4年生 後期オリエンテーション 教職センターガイダンス
- 9月22日(木) 臨時採用講師登録説明会(4年生)
- 9月22日(木) 長野県教員採用試験第二次選考合格発表
- 9月23日(金) 1年生教職履修指導・履修計画
- 9月26日(月) 社会福祉施設における介護等体験開始
- 10月6日(木) 外部講師(時事通信出版部)による教採対策講座(2～4年生)
- 10月10日(月)～ 教育実践改善賞応募開始
- 10月20日(木) 先輩教諭による教育実習事前指導(3年生)
- 10月27日(木) 長野県教育委員会教員免許年度末一括申請説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
- 11月10日(木) 教員免許一括申請説明会(4年生)

- 11月10日(木)・17日(木)・24日(木) 教育実習報告会(3~4年生)
 11月17日(木) 2022年度臨採講師希望者名簿の配布・説明(巻山)
 12月3日(土) 東京アカデミー 教採模試
 12月5日(月) 他学科免許履修支援プログラム説明会(1年生)
 12月12日(月) 明星大学通信教育部免許取得支援プログラム説明会(1年生)
 12月15日(木) 2024年度教員採用試験説明会
 12月20日(火) 令和4年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
 12月22日(木) 教育実習前CBT試験(3年生)
 12月22日(木) 教職課程履修2年次生ガイダンス
 1月7日(土) 2022年度卒友会開催(参加者：卒業生15名、学生4名、教職員19名)
 1月18日(水) 明星大学免許取得支援プログラム手続き説明会(オンライン)(1年生)
 1月19日(木) 教採報告会(1~4年生)(オンライン併用)
 1月20日(金) 履修カルテ説明会(1年生)
 2月7日(火)~ 教職科目シラバスチェック
 2月11日(土) 教育実践改善賞授賞式
 2月13日(月)~ 1年生教職課程履修申請 受付開始
 2月20日(月) 時事通信出版局 教採模試
 3月2日(木) 赴任直前講座
 3月2日(木) 長野県教採大学推薦説明会(オンライン)(川久保・河合)
 3月14日(火)~3月16日(木) 東京アカデミー 教員採用試験対策集中講座
 3月27日(月) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新4年生
 3月28日(火) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新2年生
 3月29日(水) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新3年生
 3月30日(木) 教採1日対策講座

【教育学部ガイダンス】

- 4月5日(火) 1年生新入生オリエンテーション教職ガイダンス
 4月7日(木) 学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)
 4月8日(金) 学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)
 4月11日(月) 4年生ガイダンス(講師登録説明会)
 4月20日(水) 1年生教職ガイダンス(教員免許の取得について)
 4月21日(木) 長野県教員採用試験説明会
 4月27日(水) 1年生教職ガイダンス(実習系活動について)
 6月1日(水) 上越教育大学大学院大学推薦説明会
 6月15日(水) 1年生教職ガイダンス(履修コースについて)
 6月22日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス①
 6月23日(木) 2年生学校インターンシップI事前指導①
 6月30日(木) 2年生学校インターンシップI事前指導②
 7月2日(土) 長野県教員採用試験第一次選考
 7月3日(日) 長野県教員採用試験第一次選考
 7月6日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス②
 7月7日(木) 2年生学校インターンシップI事前指導③
 7月13日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
 7月14日(木) 2年生学校インターンシップIIガイダンス
 7月21日(木) 2年生学校インターンシップI事前指導④
 7月25日(月) 4年生教職ガイダンス

- 7月27日(水) 2年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
 7月27日(水) 1年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
 8月30日(火) 上越教育大学大学院大学推薦説明会(オンライン)
 9月14日(水) 1・2年生後期オリエンテーション教職センターガイダンス
 9月15日(木) 3・4年生後期オリエンテーション教職センターガイダンス
 9月22日(木) 学校インターンシップ I 報告会
 10月5日(水) 4年生ガイダンス講義(講師登録説明会)
 10月6日(木) 外部講師(時事通信出版局)による教採対策講座
 10月17日(月) 教員採用試験受験報告会
 10月18日(火) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス①
 10月19日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス①
 10月26日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス②
 11月2日(水) 4年生教員免許状年度末一括申請説明会
 11月7日(月) 教職課程自己点検評価基準説明会
 11月9日(水) 1年生教職ガイダンス(履修コース説明会)
 11月15日(火) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス②
 11月30日(水) 4年生教員免許状年度末一括申請手続き①
 12月3日(土) 2～4年生学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)
 12月7日(水) 4年生教員免許状年度末一括申請手続き②
 12月14日(水) 1年生学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)①
 12月21日(水) 1年生学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)②
 1月10日(火) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス③
 1月11日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス③
 1月18日(水) 1年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
 2月20日(月) 学内教員採用模擬試験(時事通信出版局)
 3月2日(木) 赴任直前講座
 3月2日(木) 長野県教員採用試験大学推薦説明会(オンライン)
 3月27日(月) 新年度オリエンテーション 新4年生
 3月28日(火) 新年度オリエンテーション 新2年生
 3月29日(水) 新年度オリエンテーション 新3年生

【教育学部】訪問・依頼・説明

- 4月20日(水) 松本市教育委員会 訪問(征矢野・秋田・川久保・河合)
 4月25日(月) 長野県特別支援学校校長会幹事会 出席(矢野口)
 4月26日(火) 塩尻市教育委員会 訪問(征矢野・河合)
 4月26日(火) 安曇野市教育委員会 訪問(澤柿・澤柳)
 4月28日(木) 長野市教育委員会・信州大学教育学部訪問(岸田・秋田・河合)
 5月9日(月) 松本市校長会 出席(岸田・田澤)
 5月9日(月) 安曇野市校長会 出席(佐藤・澤柳)
 5月10日(火) 塩筑校長会 出席(澤柿・高山)
 5月12日(木) 長野県特別支援学校校長会 出席(岸田・矢野口)
 7月8日(金) 塩尻市立塩尻東小学校 訪問(征矢野)
 7月20日(水) 安曇野市教育委員会 訪問(征矢野)
 7月26日(火) 安曇野市立三郷小学校 訪問(征矢野)
 9月13日(火) 長野県特別支援学校校長会 出席(矢野口)
 9月27日(火) 木曾町校長会 出席(矢野口)

- 10月4日(火) 下伊那地区校長会 出席(田澤)
- 10月4日(火) 伊那市校長会 出席(矢野口)
- 10月7日(金) 松本市立田川小学校 訪問(征矢野)
- 10月11日(火) 北安曇地区校長会 出席(矢野口)
- 11月11日(金) 長野県小・中・特校長会幹事会 出席(矢野口)
- 12月13日(火) 松本市教育委員会 訪問(山崎・征矢野・河合)
- 12月15日(木) 上田市教育委員会 訪問(征矢野・松原)
- 12月16日(金) 長野県教育委員会 訪問(岸田・秋田・河合)
- 12月20日(火) 塩尻市教育委員会 訪問(征矢野・高山)
- 12月21日(水) 安曇野市教育委員会 訪問(澤柿・矢野口)
- 12月23日(金) 長野市教育委員会 訪問(岸田・松原・河合)
- 1月27日(金) 長野県特別支援学校校長会 出席(矢野口)
- 2月13日(月) 諏訪市校長会 ※資料郵送のみ
- 2月14日(火) 松本市校長会 出席(征矢野・松原)
- 2月14日(火) 塩筑校長会 出席(高山・澤柿)
- 2月14日(火) 安曇野市校長会 出席(秋田・澤柳)

【教育学部その他】

- 7月11日(月)～ 2年生介護等体験開始
- 5月9日(月)～ 3年生初等教育実習参観訪問開始
- 5月19日(木)～ 4年生中等教育実習(英語)参観訪問開始
- 6月6日(月)～ 4年生特別支援学校教育実習参観訪問開始
- 1月30日(月)～ 1年生次年度学校インターンシップⅠ内諾訪問開始
- 1月30日(月)～ 2年生次年度学校インターンシップⅡ内諾訪問開始

(4) 情報センター運営委員会

情報センターでは、主に研究・教育へのICT支援、情報機器の維持・管理、セキュリティ対策といった3つの業務を担い活動した。

①研究・教育へのICT支援

オンライン授業環境の支援、ソフトウェアライセンスの見直しと管理、オリエンテーションの実施

②情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバ類の維持管理、教職員PCの管理、貸出ノートPCの管理

③セキュリティ対策

防御システムの維持管理、組織的な体制の整備と運営

情報センターの業務方針を定めている運営委員会は、6月、8月、9月、11月、1月の計5回開催した。委員会では上記3つの業務に関わる事項について議論した。以下に、これらについて報告する。

①ネットワーク環境の改善

学内LANの接続先がSINET6へ切り替わるのに合わせ、システムのパフォーマンスを上げるべく夏季休業期間に学内LANの改修工事を進めた。2022年度は、3号館の一部のPC教室でのスイッチ更新や4号館を対象に各階のスイッチ類やWi-Fi AP機器のリプレースを行った。また、2号館PC教室のLANが不安定となったことから、急遽改善策として春季休業期間にノイズに強いシールドケーブルの敷設を行った。

②管理コストの見直し

これまで、研究室で使用しているカラーレーザープリンタにはリサイクルトナーを使用してきたが、プリンタ本体やトナーの値上がりによって管理コストが増加した。そこで管理コストを見直すため、プリンタの利用状況を調査し、コスト削減策を検討した。各研究室の利用状況を調査したところ、印刷枚数に差があっ

たことから、利用頻度に応じたコスト削減策を講じることとした。具体的には、印刷枚数の少ない研究室のプリンタを保守コストが抑えられるリコー社製品に変更し、印刷枚数の多い研究室は現行のエプソン社製を保守契約なしで運用することとした。

また、PC教室に導入している有料ソフトウェアのうち、ライセンス料の高い統計ソフトSPSSについて、これまでの利用状況を踏まえ、保守契約を一旦停止することとした。

③規程の見直し

情報センターに関連する規程のうち、「情報センター運営委員会規程」、「情報センター規程」について文言の見直しを行った。また、情報センターで行ってきたノートPCやデジカメ、ソフトウェアの貸し出しサービスの現状に合わせ、「ノート型パソコン学生貸出内規」の修正と、「Microsoft社製ソフトウェア学生貸出内規」および「デジタルカメラ学生貸出内規」を廃止した。

また、高大連携の授業などでのWi-Fi利用の要望が寄せられていたことを受け、これまで認めていなかった非常勤講師以外の学外者への学内Wi-Fi利用の可否について議論し認めることとした。利用に際し内規として「松本大学ゲスト用Wi-Fi接続サービス」を定めて運用していくこととした。

④セキュリティ対策

学内システムのユーザパスワードの強化としてパスワード設定ルールを新たに設定し、移行期間を定めて現行のパスワードを10桁以上に変更するようになった。また、この時期に合わせて、会議用端末をiPadからノートPCへ変更するよう促した。

学内で発生したインシデントについては、サイバーセキュリティ基本計画に沿った対応を問題なく行うことができた。

(5) 図書館運営委員会

1) 組織

大学院総合経営研究科1名、総合経営学部教員2名(館長兼務)、人間健康学部教員2名、教育学部教員1名、短期大学部教員1名、事務局2名、業務委託先7名で組織した。

2) 委員会開催

5月12日(木)16:50~17:50 オンライン会議

- ①新型コロナウイルスへの図書館の対応について報告された。
- ②2021年度利用統計、2022年度活動計画が報告された。
- ③教職員の延滞について、図書館から個別に連絡することで減少していることが報告された。図書館の利用ルールを守った上で、積極的な利用をお願いしたい。
- ④2022年度前期学科別学生図書を選定を行うことの報告と依頼がなされた。

7月7日(木)16:50~17:25 オンライン会議

- ①新型コロナウイルス対応について、現在までの図書館の対応が報告された。
- ②4月~5月の統計および活動報告がなされた。
- ③図書館購読雑誌等の見直しについて、各教員にアンケート調査を8月に依頼することが報告された。
- ④学科別学生用図書を選定について、全学科から提出されたことが報告された。現時点では大学院の予算配分はないが、総合経営研究科および健康科学研究科の完成年度である2023年度まで図書の設置予算があるため、2024年度以降の検討を今後進めることとした。

10月19日(水)9:40~10:35

- ①2023年度図書館雑誌およびデータベース等の継続・新規購入について、承認された。審議の中で、新規購入を承認するための明確な基準がないことから、今後検討する必要性を確認した。
- ②新型コロナウイルス対応について、現在までの図書館の対応が報告された。
- ③6月~9月の活動および統計報告がなされた。
- ④後期学科別学生用図書選定について、取りまとめの依頼がなされた。図書の選定を通じて、学生の図

書館利用促進を図って欲しいことが呼びかけられた。

- ⑤図書館サークル同好会が、部として昇格することが報告された。
- ⑥図書館内のカビ対策について、過去の対応や他校の事例などが紹介された。本学においても将来的な施設の見直しを含めて、検討する必要があることが提言された。

1月18日(水)9:40~10:25

- ①新型コロナウイルス対応について、現在の図書館の対応が報告された。
- ②10月~12月の活動および統計報告があった。カビ菌対策として木藤教授からのアドバイスに基づき、カビの定期点検等によりデータの収集を行っていることが報告された。
- ③今後の予定について、新年度の準備、司書科目の実習、カビ菌検査などを行うことが報告された。

3) 事業・活動内容

- ①図書館運営・サービスの方針及び計画の審議
- ②図書館利用の促進
- ③学科別図書の選定、および取りまとめ
- ④雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

4) 図書館サービス・図書館利用促進業務

①2022年度利用実績

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
266日	49,387人	7,291人	12,877冊	168人

②図書館オリエンテーション・ガイダンス

- ・新入生図書館オリエンテーション(約10分): 4月5日(火)・6日(水)
- ・後期オリエンテーション(約10分): 8月2日(火)短大2年生、9月15日(木)学部4年生
- ・在学生図書館オリエンテーション: 3月(WebClassへ資料掲載)
- ・図書館ガイダンス: 図書館での資料の探し方・OPACの使い方説明(約20分)
 - [学校教育学科1年]水曜1限
 - 4月13日・4月20日 ガイダンス(約30分)+図書館ツアー(約40分)(各自問題を解きながら館内をまわる体験型)
 - [総合経営学科・観光ホスピタリティ学科1年]火曜2限
 - 4月19日・4月26日
 - [短期大学部1年]水曜2限
 - 4月19日
- ・図書館ツアー: 各自問題を解きながら館内をまわる体験型で実施
 - [総合経営学科1年]火曜2限(基礎ゼミⅠ)
 - 5月10日 田中正、5月17日 三浦、5月24日 清水、6月7日 佐藤
 - [観光ホスピタリティ学科1年]火曜2限(基礎ゼミⅠ)
 - 5月31日 尻無浜・松田、6月7日 畑井、6月21日 林・中澤、7月5日 白戸
 - [スポーツ健康学科1年]水曜4限(基礎ゼミⅠ)
 - 6月8日 小松・伊藤・山本、6月15日 岩間・田邊・本間、6月22日 上野・丸山
 - [短期大学部1年]水曜2限(専門ゼミⅠ)
 - 7月13日 糸井・飯塚・山添・上田、7月20日 矢野口・金子・川島・木下
 - 7月27日 浜崎・小澤・中山・廣瀬

③開館時間(レベル：新型コロナウイルス感染症対応 活動制限レベル)

レベル	開館時間 (共通)	閉館時間(通常時)		閉館時間(長期休業中)	
		平日	土曜	平日	土曜
1	9:00	20:30	17:00	19:00	17:00
2~5	9:00	19:00	17:00	19:00	17:00
6	閉館	閉館	休館	閉館	休館

*レベル6の館内利用は、授業等の状況による

④データベース関連

2022年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経NEEDS - FinancialQUEST、⑩Gale Academic One File、⑪Sociology Source Ultimate、⑫Eジャーナル(14タイトル、2パッケージ)

データベース「日経バリューサーチ」のトライアル実施：10月17日(月)～30日(日)

⑤学外者利用サービス提供

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の利用サービスは停止した。

⑥図書の充実・整理

2022年度受入図書数

図書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和：3,958	洋：107	0	2	66	1
全：4,065					

和雑誌	洋雑誌
421タイトル	31タイトル

⑦蔵書点検

8月29日(月)～9月2日(金) 2022年度点検対象資料：図書館配架の和書、洋書、視聴覚資料
作業期間中は閉館とした。

⑧学生利用促進企画

- a)「松本大学図書館活動制限指針〈新型コロナウイルス感染症対応〉」の見直しを行い、活動制限レベルに応じて開館時間の短縮、郵送貸出、返却期限の延長、電話やメールでの対応、視聴覚コーナーの利用制限等を継続。閲覧席の飛沫シート、アクリル板の設置も継続した。新規事項としては、レファレンスとリクエストのオンラインサービスの強化、OPACによる情報発信の強化を図った。
- b) オーバーナイトローン、ワンデーローンの開始：4月1日(金)
- c) 新入生、新任教職員にOPAC仮パスワードをメール配信：4月9日(土)
- d) 授業サポート
 - ・総合経営学科矢崎ゼミ3年：5月26日(木)3限「OPACの使い方、本の探し方指導」
 - ・総合経営学科清水ゼミ4年：6月6日(月)3限「卒論作成に関わるデータベースの紹介」
 - ・総合経営学科清水ゼミ3年：6月6日・13日・20日・27日(月)4限 展示準備のサポート
 - ・人間健康学部1年：6月28日(火)2限「第11回情報倫理と文章表現」
 - ・教育学部1年：6月28日(火)4限「第11回情報倫理と文章表現」
 - ・総合経営学科清水ゼミ3年：6月30日(木)4限 臥雲松本市長図書館来館、展示見学
 - ・人間健康学部1年：7月26日(火)2限「第15回情報倫理と文章表現」
 - ・教育学部1年：7月26日(火)4限「第15回情報倫理と文章表現」

- ・司書課程：11月1日(火)4限「データベース講習会／ジャパンナレッジの使い方」
 - ・教育学部1年：11月30日・12月7日(水)1限「レポート書き方講座」
 - ・司書課程：1月27日(金)5限「図書館基礎特論」
 - ・司書課程：2月1日(水)～17日(金)「図書館基礎特論」図書館実習
- e) 県内8短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第47号～50号発行
県内8短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。図書館サークル同好会に原稿作成を依頼した。
- f) 卒論貸出
- ・図書の貸出期間を1ヶ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。
 - ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に7冊まで、利用申請は随時受付。後期オリエンテーションで卒論貸出の案内をしたところ、前年より利用が増加した。
申請者：学部56名(総経：7ゼミ18名、観光：4ゼミ6名、栄養：2ゼミ4名、スポーツ：7ゼミ10名、教育：13ゼミ18名)、短大10名(4ゼミ)
貸出冊数：図書241冊
- g) 延滞者督促メール配信、督促状配布
- 月に1度、1ヶ月延滞者(新型コロナウイルス感染症対応により返却期限を延長したため、4月、5月は該当者なし)、2ヶ月以上超過の学生(4月より)に督促メールを配信。年に4回、2ヶ月以上延滞の学生にゼミ担当より督促状を手渡ししていただく。2回以上行っても返却がなかった学生には実家へ送付。連絡のとれない学生については、ゼミ担当と相談し個別に対応した。卒業生には返却が確認されるまで年に1回(初年度は2回)、実家宛に督促状を送付。4回経過しても返却されなければ除籍とした。
- h) 図書館定期メールの配信
- 6月より月1回、教職員と学生向けにメール配信を開始。図書館からのお知らせ、役立つ情報、新着図書、展示の情報などを配信。
- i) 本の展示
- 入門の本、アスリートの愛読書、POP展、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞受賞作、戦争を知る、書評キャンパス、図書館サークル同好会による展示、司書科目受講生による展示、ゼミ生による展示等。
- j) リサイクル図書コーナー
- 除籍された図書・雑誌を定期的に入替、廃棄をした。
- k) 各種申込QRコードの作成、学内掲示
- 購入リクエスト、ILL、レファレンスのフォームスでの申込みについて、スマートフォンから気軽にアクセスできるようQRコードを作成し、館内のほか学内に掲示した。
- ⑨ 図書館広報関係発行物
- ・松本大学図書館利用案内
 - ・図書館だより No.66～69(学生向け)
 - ・松本大学図書館要覧2022年度版
- ⑩ 信州共同リポジトリ
- 教育総合研究第5号、第6号、松本大学研究紀要第20号、地域総合研究第23号 Part1・2をアップ
2022年度の閲覧回数：40,171回、論文等のダウンロード数89,406回
11月7日(月)：信州共同リポジトリオンライン研修会
3月24日(金)：2022年度信州共同リポジトリ年度報告会(オンライン開催)

5) 資料・設備等の整備・管理業務

i) 資料の整備

- ① IPアドレス変更に伴うデータベース、電子ジャーナル、電子書籍の設定変更手続き、設定確認を行った。
- ② レポート等課題調査・課題図書について、前期と後期に教員と非常勤講師に調査をし、お知らせいた

だいた図書はコーナーに設置。

③シラバス掲載図書について、通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し配架。

④学科選定図書について、前期と後期で調査を実施し、通常配架とした。

⑤健康科学研究科博士課程2年次、総合経営研究科1年次の資料受入、装備、配架。

⑥蔵書見直し、書架整理(特に3類、4類、5類、文庫、新書、レファレンス本の見直し、新版等の購入)。

⑦データベース「メディカルオンライン」リモートアクセス開始。

⑧紀要電子化調査

機関リポジトリやWeb上で公開されているものを調査し、公開されているものは除籍した。

⑨図書の除籍を進め、除籍した本はプレゼント本としリサイクル図書コーナーに配架した。

⑩カビが発生した図書の拭き取り、配架場所の移動、整架等

⑪就職コーナーについて、例年通りキャリアセンターと同資料を購入、配架。旧版はプレゼント本とした。

⑫研究室より返却された図書の処理

所蔵調査を行い、所蔵のないものは図書館所蔵とした。除籍対象となった本は新版調査や類似書調査を行い、資料の更新を図った。

⑬除籍雑誌の譲渡について、保存期間外の資料を教職員・学生への譲渡を行った。残った雑誌は一部プレゼント本とし、リサイクル図書コーナーに配架。配架しない分は廃棄処分とした。

⑭1階保存新聞置き場を整理し、資料を取り出しやすくした。

ii)設備の新設・更新

①コロナ対策として座席を削減していたが、6月より徐々に座席数を増やしていき、7月にはほぼコロナ前の座席数に戻した。閲覧席の飛沫防止シート、アクリル板の設置は対面席のみ継続。座席の消毒は職員による消毒作業をやめ、各階にアルコール除菌シートを設置、各自で行うように呼びかけた。

②1階洋書コーナーのカビの発生を抑制するため、除湿剤の取り替え、9月より朝と夕方の2回温湿度を記録しデータの蓄積を開始した。

③洋書コーナーカビ菌検査(年2回): 9月14日(水)・2月22日(水)実施。

④電動書架和書周辺もカビが発生しているため、除湿剤を設置した。

⑤電動書架の見回り: 1回目・10月、2回目・11月-12月、3回目・3月

定期的に和書・洋書書架の見回りを行い、カビ本を見つけたらアルコールで拭き取り、周辺の本と書架もアルコールで拭き取りをした。カビ本、発生場所を記録しデータの蓄積を開始した。

⑥情報館アップデート(リモート対応): 8月26日(金)

⑦入退館ゲート定期点検(年2回): 9月15日(木)・3月3日(金)

⑧館内コピー機の入替: 9月21日(水)

⑨デスクトップPCについて、利用者用2台、各階検索用3台のOSバージョンアップをした。

⑩利用者用2台、各階検索用3台のデスクトップPCからInternet Explorerをアンインストールした。

⑪同窓会より寄贈された空気清浄機を1階に設置した。

⑫ボイラー室、図書館内蒸気配管の修理。

⑬英語多読書コーナーの書架入替を行った。

⑭2類書架の増設を行った。

6) 教職員サポート業務

① 図書購入・図書費の管理

2022年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
総合経営	総 経	110,893	148,694
	観 光	225,455	666,298
人間健康	栄 養	100,072	143,970
	スポーツ	73,916	397,144
教 育	教 育	566,759	977,471
短 大	商 学	31,192	369,753
	経 情	89,921	374,159
大学院	健康科学	341,194	648,514
	総合経営	515,159	976,690
合計		6,757,254	

職員図書費	101,415
-------	---------

② 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献複写 (依頼)	文献複写 (受付)	相互貸借 (借受)	相互貸借 (貸出)	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
291	11	99	0	0	34

7) 総務的業務・他機関との連携

① 調査等への回答

6月30日(木): 日本図書館協会・図書館調査票提出(データ送信)

11月4日(金): 文部科学省2022年度(令和4年)学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

② 学校法人松商学園内3校の図書館連携について

9月1日(木): 学校法人松商学園内3校(松商学園高校、松本秀峰中等教育学校、松本大学)の図書館担当者による、電子図書館サービスおよび相互貸借について打ち合わせをした。

③ 長野県図書館協会関連

長野県図書館協会大学専門図書館部会・分科会当番校

長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会・幹事校

③ その他

6月1日(水)~10日(金): 令和4年度長野県図書館協会総会(書面決議)

9月1日(木)~8日(木): 第83回(2022年度)私立大学図書館協会総会(メール会議)

3月1日(水)~16日(木): 2022年度JPCOAR総会(書面決議)

8) 職員研修

① 学外研修

5月27日(金): 情報館オンラインセミナー参加(新機能紹介)

7月8日(金): 情報館オンラインセミナー参加(蔵書点検)

8月29日(月): 長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会「レファレンス・サービス研修」 リモー

ト併用(佐久大学図書館)

- 9月30日(金): 図書館に向けた図書館等公衆送信サービス説明会(オンライン参加)
 10月14日(金): 私立大学図書館協会東地区部会管理職研修(オンライン開催) 清水館長、中村係長
 10月28日(金): 第72回長野県図書館大会専門図書館部会分科会(オンライン開催) 当館発表館
 12月7日(水): 図書館等公衆送信サービス関係者協議会における協議状況報告」シンポジウム参加(オンライン受講)
 1月31日(火): 長野県図書館協会専門研修ステップアップ研修「デジタルと紙のベストミックスで目指す図書館の未来とは?」(オンライン受講) 田中課長
 3月23日(木): 長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会(県立長野図書館)

9) その他

①松本大学古本募金

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力(回収ボックスの設置、除籍本の寄付)。

(6) 国際交流センター運営委員会

1) 委員会開催

2022年度の委員会は、5月、7月、9月、11月、3月の合計5回開催した。構成委員は、教員6名、職員2名である。新型コロナウイルス感染症による留学や国際交流活動の停止から3年が過ぎ、ようやく留学生の受け入れや海外留学が再開されたことにより、本委員会での審議は主に交換留学生の受け入れや新たな大学間提携に向けての議論が中心となった。

2) 業務報告

①外国人私費留学生(2名)への授業料減免面接

私費留学生2名(中国出身、総合経営学科4年、観光ホスピタリティ学科2年)の授業料減免審査の面接を実施。国際交流センター委員による面接の結果、授業料半額の減免対象となった。

②日本人学生海外留学支援(14名)

2022年4月から2023年3月まで海外に滞在した日本人学生は合計14名であった。本年度海外留学をした学生の内訳は以下の通りである。

- a) 総合経営学部総合経営学科4年1名、オーストラリア個人語学留学、1ヵ月(Discover English Melbourne)、2023年3月3日～3月31日
 - b) 総合経営学部観光ホスピタリティ学科3年2名、チェコ共和国パルドビツェ大学、5ヶ月、2022年9月13日～2023年2月10日
 - c) 教育学部2年～4年10名、マルタ共和国マルタ大学、各1ヵ月、2022年8月13日～9月15日、2023年2月10日～3月14日
 - d) 松商短期大学部2年1名、韓国東新大学、4ヶ月、2022年9月～2022年12月
- 上記の学生14名に対して、松本大学同窓会より留学生支援金50万円が補助された。

③外国人交換留学生支援(6名)

本年度の松本大学及び短期大学部への提携校からの交換留学生は合計4名であった。韓国東新大学より女子1名、男子3名が在籍し1年間松本大学にて学び、うち1名は2023年4月より(株)アルピコホテルズに就職した。その他の台湾義守大学、中国嶺南師範学校からの交換留学生は本年度の留学を見合わせた。

また、チェコ共和国パルドビツェ大学経済経営学部より、学生2名(女1・男1名)が短期の企業研修を目的として本学に2ヵ月間滞在した。その間、日本銀行松本支店、アルピコホテルズ、アルピコホールディングス、(株)富士電機パワーセミコンダクタ大町工場、(株)信越電装、(有)多田プレジジョンなどの企業訪問を実施し、これを支援した。(7月7日～9月6日)

④新規大学間交流協定提携の締結

前年度より審議が続いていた新規の大学間交流協定校との提携が一步前進した。

まず初めに、台湾醒吾科技大学との提携が3月13日付けの両大学の学長らによる署名をもって完了し、その締結式が3月20日に同校で実施された。締結式には、益山代利子国際交流センター長、清水聡子総合経営学科長、関澤一洋学生課長が参加した。台湾醒吾科技大学からは、国安国際センター長をはじめ呂慧芬財金系副教授も提携式に参加された。2023年9月より1名の学生が本学に留学する予定である。

次に、インドネシア国のプレジデント大学であるが、まずは同校の調査・見学のために益山国際交流センター長と関澤課長が同校を12月2日に訪問した。その際、(株)アルピコホールディングスの松木嘉広氏が同行し、プレジデント大学のオーナー企業であるジャバテカホールディングス(株)の協力のもと、同大学を案内して下さった。また、同大学の所在地であるジャバテカ地区や大学寮なども見学した。その後、本学全学協議会に国際交流協定締結に関する素案を上程した後、アルピコホールディングスとの企業連携を念頭に置いた大学間交流協定についての了承を得たが、年度末現在ではプレジデント大学側の正式署名を待つに至っている。プレジデント大学訪問に先駆けて、プレジデント大学主催の社会科学・人文系国際学会にて、本学教育学部のショーンマーメット准教授が10月27日にオンラインで発表を行った経緯もある。

⑤日本語スピーチコンテスト

松本留学生応援ファミリーの会主催による日本語スピーチコンテストが7月18日にMウイングにて開催され韓国東新大学出身のキム・チャンギュさんが3位に入賞した。中村委員と益山センター長が発表会に参加しキムさんを応援した。

⑥国際交流クラブ

国際交流クラブ主催の台湾義守大学と韓国東新大学とのオンラインでの学生交流会が開催された。海外留学がかなわない中、提携校の学生との日本語での近況報告がなされ、提携大学からの謝意が寄せられた。

3) 活動報告

- 7月7日～9月6日 チェコ共和国パルドビツエ大学経済経営学部4年生2名による企業研修及び日本文化研修旅行(京都)、木曾路旅行
- 7月18日 松本留学生応援ファミリーの会主催日本語スピーチコンテスト
- 8月29日～30日 留学生日本文化研修(京都)9名参加
- 9月7日 韓国、チェコ交換留学生研修成果発表会(キム・チャンギュ、カテリーナ・パブロワ、ミクラス・アントニク) 学長以下23名参加
- 10月27日 プレジデント大学主催の社会科学・人文系国際学会にて、本学教育学部のショーンマーメット准教授オンライン研究発表
- 1月30日 台湾高雄医科大学関係者14名が本学を来訪、学長他関係者との会議や学生交流、地域づくり考房『ゆめ』の視察を実施した
- 3月15日 松本大学同窓会海外研修支援金贈呈式に学生14名が参加し、小島同窓会会長より各自に支援金が贈呈された。

4) その他

9月夏季休暇中、大学院留学生1名(ドミニカ共和国、女子)が体調不良により警察による3回の保護、その後病院に2週間入院し、退院後通院による治療を行った。また、韓国人留学生1名(女子)についても精神的な不調により通院・治療に学生課長が付き添った。留学生については、既往症や個人の病気について国際交流センターへの報告が求められるよう。

(7) インターンシップ推進委員会

1) 委員会開催

①5月13日(金)

- ・事務局より、2022年度松本大学インターンシッププログラムのマッチング案について報告がなされ、審議の結果、異議なく承認された。履修登録をした139名のうち、118名が申し込みをし、結果85名がマッチングとなった(企業側の受け入れ総数は104枠)。マッチング案は学生の志望企業・志望動機・学業成績・居住地・自動車の運転可否などの項目を総合的に考慮し、一次マッチングと二次マッチングを委員長と事務局にて実施し選出した。二次マッチングについては、一次マッチング後に空き枠が残っている企業を一次マッチングに至らなかった学生に提示し、その結果4名から応募があり、うち3名がマッチングとなった。
- ・事務局より、資料に基づき松本山雅における長期インターンシップについての説明がなされ、昨年度同様、実施する方向で進めていくことが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

②12月21日(水)

- ・事務局より、2022年度の実施結果について報告がなされた。当初85名のマッチングであったが、コロナ等により13名が辞退となり、その結果72名が30社にてインターンシップを行った。なお、72名のうち2名が事後研修に参加しなかったため、最終的には70名が単位認定となった。また、学生の満足度調査について、満足度が非常に高かったことが報告された。一方で、運営に関する要望や意見等もあり、次年度以降可能な範囲で改善していくことが確認された。加えて、インターンシップの報告書について、報告会での発表者のみで作成することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。
- ・事務局より、2023年度の実施計画について報告がなされた。基本的には2022年度を踏襲するが、企業訪問と実習ノートの確認作業について、可能な範囲で本委員会の委員にも協力を依頼することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。なお、新規企業の開拓について、すでに参画希望のある企業23社、企業セミナーで参画希望を示した企業80社にプログラムの作成依頼をすることが提案され、審議の結果、異議なく承認された。
- ・事務局より、岡谷市よりパッケージ型インターンシップ(5日間で複数の企業を体験するもの)の提案があったことの経緯について説明がなされ、松本大学インターンシッププログラムの一つとして受け入れることの是非について審議がなされた。審議の結果、全体の半数以上を就業体験とすることが求められることから、①2社で実施する場合にはそれぞれの企業等では2日以上(計5日間)を実施する、②3社で実施する場合にはそれぞれの企業等で2日間(計6日間)を実施する、③3社で実施する場合には1日目に3社合同でガイダンスを実施したうえで、就業体験の時間をそれぞれの企業等で十分に担保できれば1日のみ実施する企業があっても可とする、ということを条件に承認された。
- ・事務局より、マイナビインターンシップアワードへの応募について提案がなされた。審議の結果、受賞に至れば本学のPRにもなること、また他大学や企業の取り組み等も知れることから、異議なく承認された。
- ・事務局より、本プログラムを企業へ紹介するパンフレットについて、三省合意の見直しに対応するため内容を更新したい旨の提案があり、審議の結果、異議なく承認された。なお、更新の手間やコストの削減のため、キャリアセンターで発行している企業向け冊子「ACCESS」との一元化についても併せて提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。
- ・事務局より、本学が塩尻地域と連携して行っている「地域の人事部」事業の一環である長期実践型インターンシップについて報告がなされた。併せて先日(12月16日)のマッチングイベントでは本学より13名の学生が参加し、そのうち8名が長期インターンシップへの応募を希望していることが報告された。
- ・事務局より、先日行われた企業向けセミナーにおいて、三省合意の見直しについての説明や、本学のインターンシッププログラムについての紹介を行ったことが報告された。併せて企業のアンケート結果も共有され、多くの企業に満足いただいたことが報告された。

2) 事業活動

- ①年度内の松本大学インターンシップ派遣学生数85名(新型コロナウイルス感染症の影響により13名が派遣

中止となった)。

②上記①のうち単位認定を実施した学生数70名(単位認定しなかった2名は事後研修への不参加が理由)。

B：学生支援

(1) 全学就職委員会

1) 委員会開催

①4月25日(月)

- ・年間スケジュール及びキャリア支援に関する授業計画の確認がなされた。
- ・保護者就職説明会の実施方法について検討し、今年度は対面での実施を基本として、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、次回委員会で決定することとした。また、各学部学科においてどのような方法で実施するか検討するよう要請がなされた。
- ・新入生キャリア面談に代わる基礎ゼミでのヒアリングについて、各学部の現状が報告された。
- ・就職支援システム「キャリアタスUC」の教員利用について審議がなされ、閲覧・入力の特権をゼミ・クラス担当者だけに付与することが承認された。
- ・2022年3月卒業学生の内定率、2023年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。

②5月30日(月)

- ・2022年3月卒業生の内定率(学部99.0%、97.6%)について確認された。
- ・11月実施予定の保護者就職説明会について、対面での実施に向けて準備していくことが確認された。
- ・就職支援システム「キャリアタスUC」の教員利用について、個人情報保護の観点からの懸念があることから再度検討することとなった。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況、5月14日に実施された学内合同企業説明会、松本大学インターンシップ、業界研究セミナー、2年生を対象としたスタートアップ講座の状況について報告がなされた。

③7月5日(火)

- ・保護者就職説明会第1部のプログラム内容について審議、承認がなされた。また、第2部の各学部学科のプログラムについては次回委員会で確定することが承認された。
- ・継続審議となっていた就職支援システム「キャリアタスUC」の教員利用について、学部については利用を見送ること、短大部については全学協議会に上程し利用の認可を得ることが審議され、承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・「就職率」等の用語について、文部科学省の通知に則り、「就職内定率」: 調査途中の暫定的な調査結果、「就職率」: 4月1日時点の最終的な調査結果、「卒業生に占める就職者の割合」: 卒業生に占める就職率、とすることが確認された。
- ・キャリアセンターによるSPI講座について、参加者が少ないこともあり今年度の実施は見送ることとし、学内で実施されている各種講座情報を周知していくことが確認された。
- ・企業アンケート及び卒業生アンケートの実施予定について報告がなされた。

④8月5日(金)

- ・保護者就職説明会第2部の各学部学科プログラムの内容について審議、承認がなされた。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・長野県中小企業団体中央会主催合同企業説明会を9月21日に実施する予定であることが報告された。
- ・学部3年生及び短大部1年生を対象とした夏期就職対策講座の実施予定について報告された。
- ・前期における業界研究セミナーの実施状況について報告された。
- ・就職支援システム「キャリアタスUC」の教員利用について、全学協議会での議論の結果、短大部においても利用を見送ることとなったことが報告された。

⑤9月27日(火)

- ・保護者就職説明会の準備状況について報告され、新型コロナウイルス感染症の状況により10月27日に対

面実施の可否について判断すること、対面実施が見送られた場合、資料送付を基本としその他各学部学科で要望があれば対応していくことが審議、承認された。

- ・就職支援ガイダンスの内容について、一部変更案が審議、承認された。
- ・企業採用担当者向けのキャリアセミナーの実施について、11月と12月の2回の実施が予定されていたが、12月の1回にまとめて実施することが審議され、承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・長野県中小企業団体中央会主催合同企業説明会について、新型コロナウイルス感染症の感染状況の拡大を受けて、9月上旬に中止と判断したことが報告された。参加を表明していた企業39社については、企業訪問を実施し、情報交換に努めていることが報告された。
- ・夏期就職対策講座、業界研究セミナーの実施について報告された。

⑥10月25日(火)

- ・2023年度年間計画案について、今年度の経験を踏まえながら、各イベントを対面とオンラインに使い分けながら実施し、主だったものでは、合同企業説明会や業界研究セミナーは対面での実施、キャリア面談や夏季就職対策講座はオンラインでの実施予定であること、また、大きな変更点として、6月に学部保護者就職説明会、7月にミニ合同企業説明会を実施する案が示され年明けの委員会で最終的に決定していくことが確認された。
- ・キャリアセンターにおけるSNSの活用のあり方について、現在LINEでの運用を行っているが、費用対効果等に鑑み、今後はInstagramを利用していくことが審議され、承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・短大部の保護者就職説明会について、11月26日の実施に向けて準備されていることが報告された。
- ・11月5日に実施する学部保護者就職説明会の最終的な申込状況について、全体で172世帯、249名の参加申込があり、2年生の保護者のほうが3年生の保護者よりも申し込みが多くなっていることが報告された。
- ・コロナ禍によりオンラインが日常化したことにより、学生がキャリアセンターに足を運ぶ機会が減っており、また、キャリアセンター内の静穏な環境により学生の相談内容が他者に漏れてしまうといった懸念等から、キャリアセンター内で試験的にBGMを流すことが報告された。

⑦11月23日(水)

- ・新入生のキャリア面談の代替措置として基礎ゼミでのヒアリングを実施してきたが、今後のあり方について審議され、さまざまな意見が出されたが継続審議となった。
- ・合同企業説明会の日程について、学生の参加促進という観点から、3月14日実施分を2月28日に変更することについて審議され、承認された。
- ・(株)東京商工リサーチが発行している企業情報誌「エラベル」を、就職活動を迎える学部3年生と短大1年生全員に対し、企業研究や企業選びの際に活用できるよう配布するという案が提案され、審議、承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・後期よりキャリアセンターによる就職支援ガイダンスを実施しているものの、昨年と比べても学生の参加率がかなり低い状況であることから、ゼミ教員にも協力していただきながら、学生へ出席を促していくことが報告された。
- ・11月5日(土)に実施した学部保護者説明会について、227名の保護者の参加があったことが報告された。
- ・進路先アンケートの実施について報告がなされた。
- ・12月8日(木)に実施する企業の採用担当者向けセミナーの概要について報告がなされた。
- ・短大部の保護者就職説明会について、66名の保護者から参加申し込みがあることが報告された。

⑧1月17日(火)

- ・前回から継続審議となっている新入生のヒアリングについて審議がなされ、学部については、新入生に対するヒアリングを教務委員会へ依頼しない、短大部については、入学してから就職活動を始めるまで期間が短いということもあり、短大就職委員会で議論をしたうえで、方向性を示すことが承認された。
- ・継続案件となっていたキャリアセンター年間予定案について審議がなされた。2023年度は、業界研究セミナー

- を、前期は6月～7月にかけて、後期は10月～11月にかけて実施していく。オンラインではなく、対面での実施を予定しており、1回の講座で複数の企業の説明を聞くことができるよう変更していく。また、参加学生を増やすために、OB・OGからも話を聞く機会を新たに設けていくことが説明され、承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
 - ・2月20日から28日にかけて、延べ6日間、オンラインで合同企業説明会を実施し、当初計画していた企業数(120社)よりも多い、126社から参加申し込みがあったことが報告された。
 - ・1月31日から2月14日にかけて、延べ11日間、学部3年生と短大1年生のキャリア面談をオンラインで実施することが報告された。
 - ・11月26日に行われた短大保護者就職説明会について報告がなされた。出席者は、58家庭70名であった。
 - ・就活前に実践的な研修を望む学生もいることから、1月30日(月)にグループディスカッションとマナーに関する実践講座を実施することとした。
 - ・企業の採用担当者向けに実施したキャリアセミナーについて報告がなされた。本学の状況や学生の就職動向、三省合意に基づくインターンシップの見直しについての説明をし、参加企業からは概ね高い評価をいただいたこと、本学のインターンシッププログラムに興味を示している企業が多いことが報告された。
 - ・2025年3月卒業予定者(学部2年生)の就職活動に関する日程について、文部科学省から指針が示され、現状と同様の日程であることが報告された。

⑨2月16日(木)

- ・継続審議となっていた短大新入生のヒアリングについて審議され、短大就職委員会では新入生ヒアリングを基礎ゼミへ依頼しない方向で結論付けており、全学就職委員会においても、学部同様、短大新入生のヒアリングを基礎ゼミへ依頼しないことが承認された。
- ・例年11月に実施している学部保護者説明会について、就職活動の早期化を踏まえ、次年度は6月に実施することが審議され、①実施内容を今年度と同様、全体会・学部学科説明会・個別相談会の3部構成とする、②プログラムにゆとりを持たせるため、開始時刻を13時からとする、③3月下旬までに、各学部学科説明会のプログラム案を、キャリアセンターの各学部担当者へ提出することが承認された。
- ・2023年3月卒業予定学生の内定状況が報告された。
- ・学内合同企業説明会へ参加しやすいよう、学生向けにブースの回り方や参加企業に関する解説会を実施したことが報告された。
- ・就活を直前に迎えた学部3年生と短大1年生対象のキャリア面談について実施報告がなされた。
- ・3月6日より、学部2年生のキャリア面談を実施していくことが報告された。

⑩3月15日(水)

- ・ジェネリックスキルを測定するアセスメント検査として、1年次と2年次で「GPS-Academic」を実施しているが、①大学入学後の意識づけ、②就職・進路支援を考える際の自己分析への活用を体系的に考えるということから、実施時期を1年次と3年次に変更したほうが、より効果的であると考えられることから1年次前期及び3年次後期に実施することが審議され、承認された。なお、短大部については、引き続き1年次及び2年次での実施とする。

2) 事業活動

①年度内の求人受理事業所数

24,367件

②学内合同企業説明会の開催

2022年5月14日 計10事業所

2023年2月20日、21日、22日、24日、27日、28日 計127事業所(オンライン実施)

③保護者就職説明会の開催

大学：11月5日(土) 163家庭、227名参加

短大部：11月26日(土) 58家庭、70名参加

④キャリア面談の実施

学部2年生対象：2023年3月

学部3年生・短大部1年生対象：2023年2月

⑤インターンシップ参加支援

松本大学インターンシップ事業：参加人数72名、協力事業所30

信州産学官インターンシップ：参加人数7名

⑥学内個別企業説明会の開催

計36回

⑦学生向け各種支援講座の開催

夏期就職対策講座、業界研究セミナー、学部2年生対象スタートアップ講座、グループディスカッション・マナー講座等

3) 各学部の部会開催

総合経営学部：5月23日(月)、7月1日(金)、2月27日(月)

人間健康学部：7月28日(木)

教育学部：4月22日(金)、5月27日(金)、6月30日(木)、10月31日(月)、2月28日(火)

短期大学部：10月11日(火)、2月9日(木)、3月28日(火)

(2) 全学学生委員会

1) 委員会開催

- ・4月15日(金) 臨時メール審議

「平和創造研究会」の同好会申請、承認。

- ・第1回 4月22日(金)

[審議事項]

委員会構成並びに事業計画案の確認、新型コロナウイルス感染症対策に伴う喫食について。クラブ名簿及び外部指導者の承認について。健康日記アプリの活用促進について。経済的困窮学生の授業料減免に関する規定改正について。学友会組織の現状と課題について。

[報告事項]

三大学交流事業について。

- ・第2回 6月10日(金)

[審議事項]

後期オリエンテーションの運営について。「ランニングサークル」の同好会申請について。強化指定選手の承認について。学生駐車場利用違反学生の指導について。クラブ活動における出張関係事務手続きについて。学生大会等の学友会活動の支援について。

[報告事項]

学生大会実施に関する具体について。貴重品の管理徹底について。学友会サイトリニューアル公開について。学外活動における新型コロナウイルス感染症対策について。

- ・第3回 7月26日(火)

[審議事項]

「松本大学クラブ等の活動における学外指導者内規」「松本大学強化部・重点部の遠征に係る旅費内規」の規定改正について。梓乃森祭開催方針について。6号館トレーニングルームの運営について。経済状況悪化等に伴う就学困難な学生への支援制度について。学友会行事「キッチンカー」販売について。

[報告事項]

学友会行事予定(松本ぼんぼん)について。三大学学生交流課題研究会議について。短大卒業アルバム用集合写真について。

・第4回 10月11日(火) メール審議

[審議事項]

規則違反による新型コロナウイルス感染症集団感染があった軟式野球部の活動停止処分解除について。図書館サークルのクラブ昇格について。男子サッカー部学外指導者業務委託について。

[報告事項]

三大学学生交流課題研究会議の開催の具体について。

・第5回 11月30日(水)

[審議事項]

施設利用アンケートの実施について。クラブ規程「学外指導者内規」「強化部・重点部の遠征に係る旅費内規(再審議)」の改正について。学生駐車場システムの改善検討について。教員による部活動の帯同に伴う特殊勤務手当が廃規定となったことについて。クラブ活動禁止期間中における学生の施設利用について。

[報告事項]

梓乃森祭開催報告。8号館タバコ吸殻投棄について。交通事故報告。学内外施設の無断駐車について。

・第6回 1月24日(火)

[審議事項]

2023年度梓乃森祭活動方針について。8号館ロッカーについて。松本大学強化部・重点部の遠征に係る旅費規定について。学友会費について学部・短大の予算配分、余剰金について。

・第7回 3月14日(火)

[審議事項]

第28期「経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度」について。2023年度前期特待生継続審査(スポーツ特待生)について。新入生オリエンテーションについて。らくらく健康観察アプリについて。One Tap Sports アプリについて。2023年度以降の新型コロナウイルス感染症への対応体制について。学生駐車場料金について。学友会費の余剰分について。

[報告事項]

学友会の体制検討について。学友会の役員募集、クラブ活動の学外指導者契約状況の確認。

2) 新型コロナウイルス感染症感染予防に係る学生生活への対応

- 5月25日 活動制限レベル3に引き下げ/会食制限、学内飲食ルールは継続。クラブ・サークル活動について《学生から指導者へ活動開始、終了の報告、開始前の健康チェック、参加者の把握、指導者による日常的な健康チェック、終了時の指導(非対面可)》
- 7月22日 活動制限レベル4に引き上げ/クラブ・サークル活動について《学生から指導者へ活動開始・終了の報告、健康チェック表・参加者名簿の提出、指導者による日常的な健康チェック、終了時の対面により指導》
- 7月28日 活動制限レベル5に引き上げ/休憩時間並びに昼食時における不織布マスクの着用。飲食の際の会話の自粛。クラブ・サークル活動について《強化部・重点部を除き、原則活動禁止》
- 9月29日 活動制限レベル4に引き下げ/梓乃森祭2022年度の開催指針を提示。クラブ・サークル活動前掲
- 10月19日 活動制限レベル3に引き下げ/学生生活、クラブ・サークル活動前掲
- 11月9日 活動制限レベル4に引き上げ/学生生活、クラブ・サークル活動前掲
- 11月16日 活動制限レベル5に引き上げ/学生生活、クラブ・サークル活動前掲
- 2月1日 活動制限レベル4に引き下げ/学生生活、クラブ・サークル活動前掲
- 2月14日 活動制限レベル2に引き下げ/基本的感染防止対策は継続、クラブ・サークル活動レベル3に準ずる。

※「新型コロナウイルス感染症に関する一人暮らし学生への食糧等支援」は年間を通して継続

3) 学生支援（奨学金、授業料免除等経済的支援）

- 7月1日 『第27期 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度』の申込み案内開始
- 8月23日 『第27期 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度』オンライン面談の実施
〈2022年度後期授業料分 学部：7名 短大：1名 大学院：1名 計：9名〉
- 1月10日 『第28期 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度』の申込み案内開始
- 2月28日 『第28期 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度』オンライン面談の実施
〈2023年度前期授業料分 学部：8名 計：8名〉
- 4月7日・8日 日本学生支援機構奨学生 大学採用説明会実施
- 9月8日 日本学生支援機構奨学生 大学採用案内開始(大学ホームページ掲載)
〈2022年度日本学生支援機構奨学生数〉

①給付型奨学生

学部：222名 短大：63名 計：285名

(大学院：機構による給付制度なし)

②貸与型奨学生(第一種【無利子】)

学部：446名 短大：69名 大学院：4名 計：519名

③貸与型奨学生(第二種【有利子】)

学部：465名 短大：90名 大学院：0名 計：555名

※上記3種類のうち複数の奨学金を受けている学生の人数は、重複して計上。

4) 学友会活動支援

- 4月15日 第一体育館南側、第一部室棟内に製氷機を2台設置
- 4月19日・20日 学友会対面説明会を実施
- 4月25日～28日 部活動・サークル・マツナビ対面説明会実施
- 5月18日 クラブ協議会説明会実施
- 6月7日 「学友会ブログ」リニューアル
- 6月27日 学生大会をオンラインで開催(投票締め切り)
- 7月4日～12日 学友会による七夕イベント実施
- 7月13日 学祭局学生による本年度「梓乃森祭」計画説明会実施
- 7月15日 大学祭の新型コロナウイルス感染症指針提示
- 8月24日 学友会活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について発出
- 10月14日～16日 「梓乃森祭」実施(非公開による)
- 10月31日～11月1日 学友会によるハロウィンイベント実施
- 12月12日 学友会による焼き芋大会実施
- 12月13日～15日 学友会企画「クリスマスケーキプレゼント企画」の実施
- 12月13日～25日 学友会によるX'masイルミネーションの設置
- 2月20日・23日 学友会オンラインイベント「なんでも相談会」実施

(3) 障がい学生支援会議

1) 会議開催

・5月9日(月) 第1回 前期会議

修学における合理的配慮申請のあった5名(学部3名、短大2名)について検討した結果、5名全員に対しての合理的配慮が決定した。

・5月 メール審議 (臨時)

合理的配慮申請が提出されていない車いす利用の学生の学内での通行状況に改善が必要であることが判明した。未申請ではあるが、本会議設置の趣旨を踏まえ審議を行った。その結果、管理課に段差解

消を依頼することが確認され、後日、施設改善された。

・6月 メール審議（臨時）

修学における合理的配慮申請のあった2名(学部1名、短大1名)について検討した結果、両者に対しての合理的配慮が決定した。

・9月 第2回 後期会議（メール審議）

修学における合理的配慮申請のあった2名(学部2名)について検討した結果、両者に対しての合理的配慮が決定した。